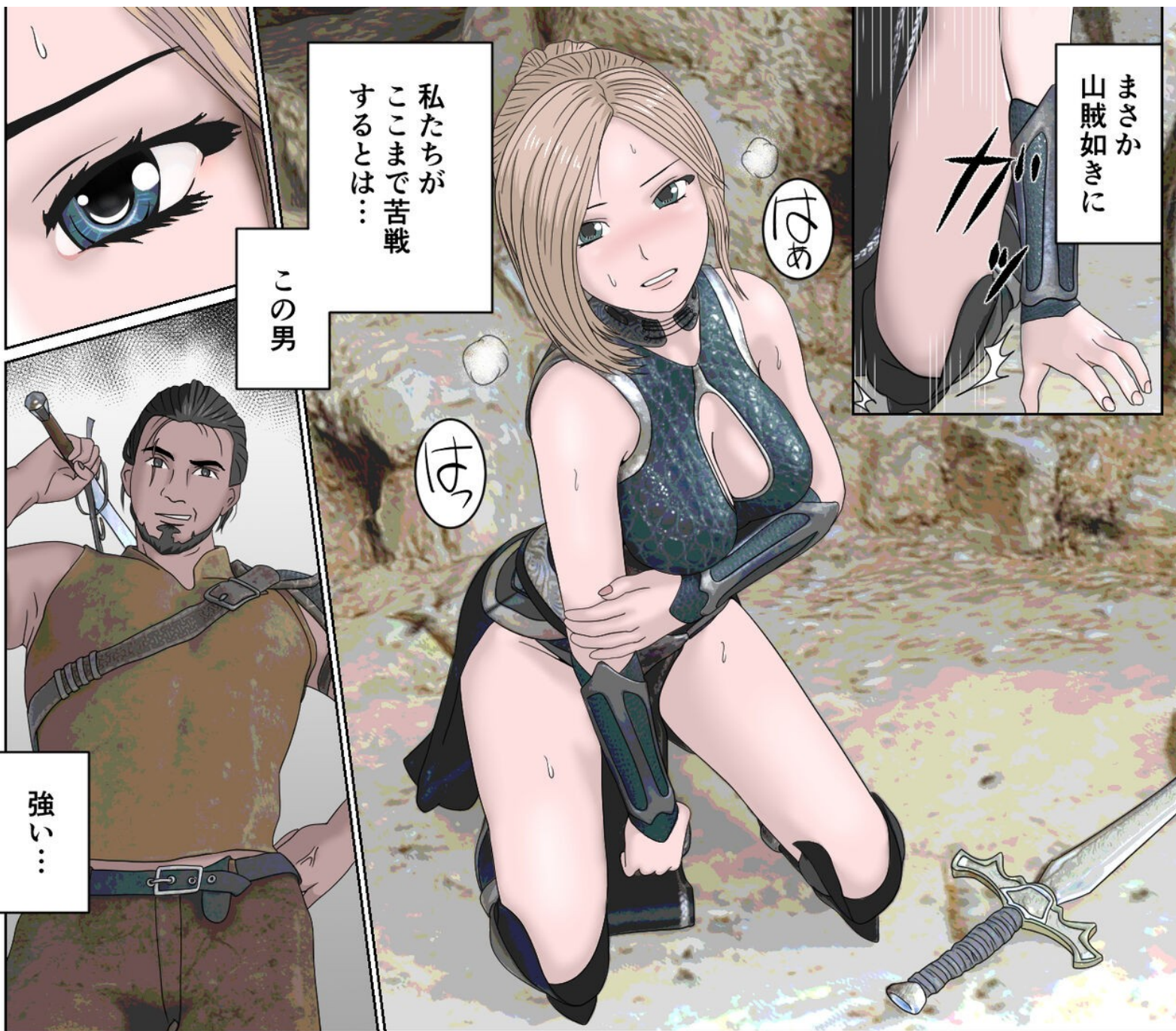




女剣士敗北陵辱

サンキエス
プロジェクト



まさか
山賊如きに

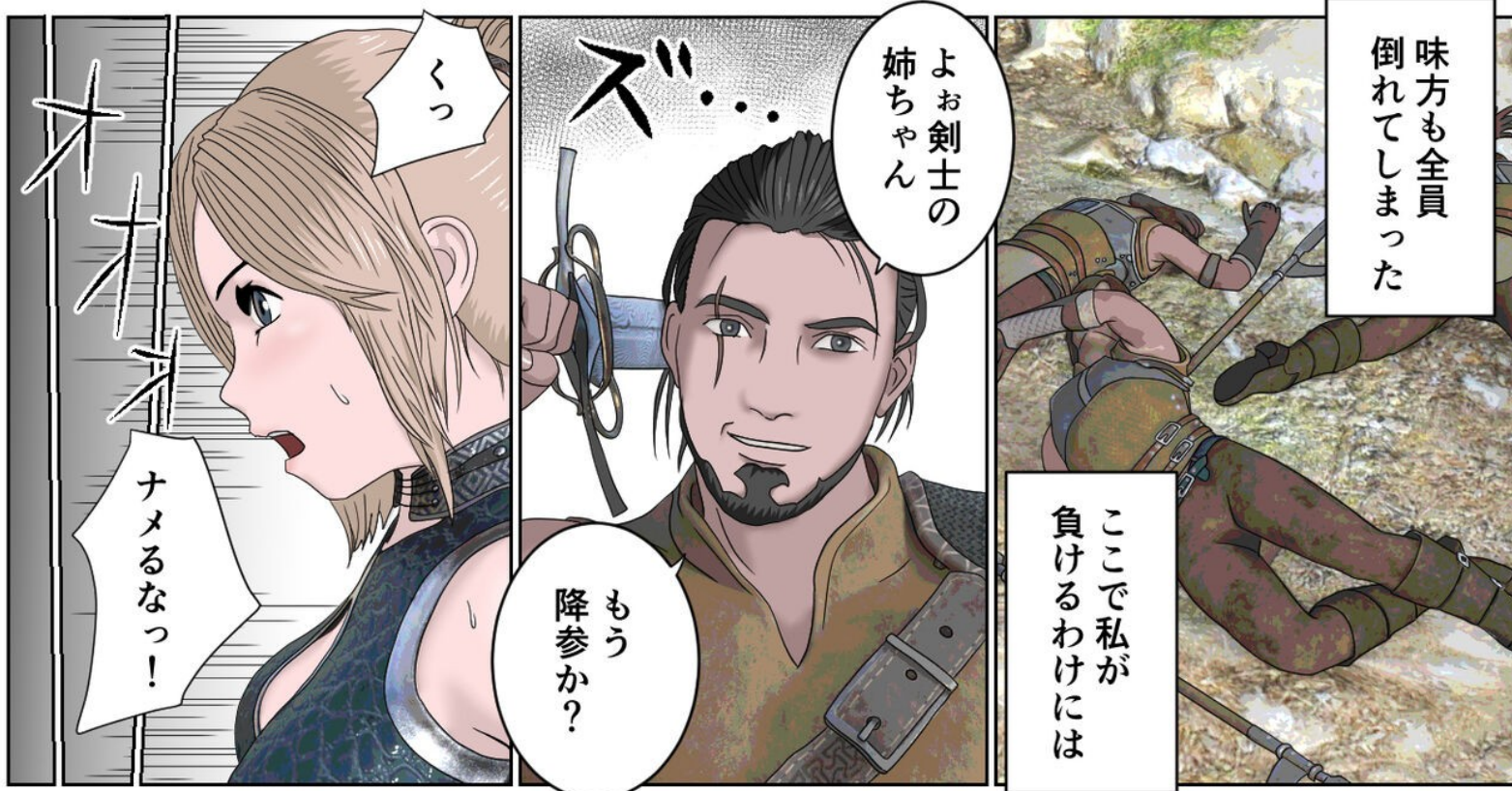
なあ

私たちが
ここまで苦戦
するとは…

この男

は

強い…



味方も全員
倒れてしまった

よお剣士の
姉ちゃん

ズ…

もう
降参か？

ここで私が
負けるわけには

ナメるなっ！

数日前

報告に
よれば

近頃、街道の
近くに

山賊が
出没する
そうだ

すでに近隣の
村が略奪され

若い娘が
連れさられ
てるとか：

放っておく
わけには
いくまい

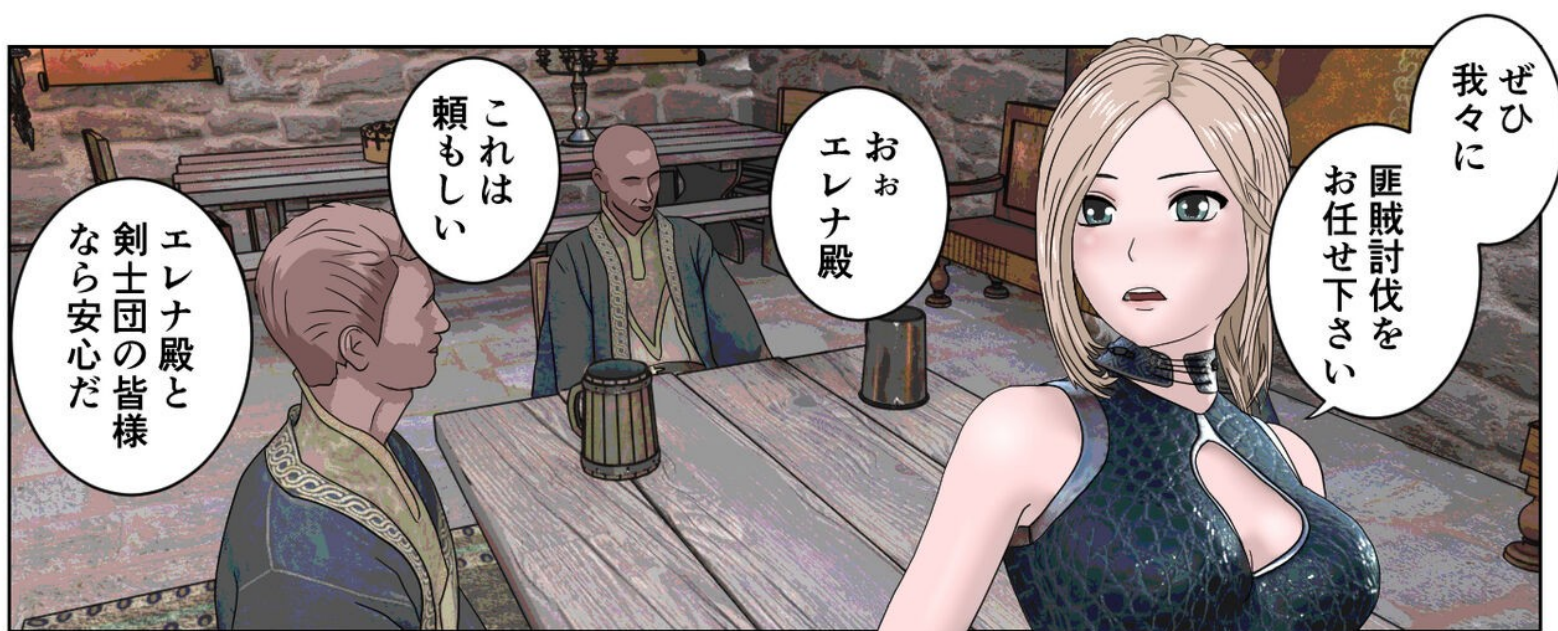
早急に手を
打たねば

その役目、
私達にお任せ
下さい

民から奪い
婦女子に狼藉
まで働くとは：

到底許せる
ものでは
ありません

！



ぜひ
我々に

匪賊討伐を
お任せ下さい

おお
エレナ殿

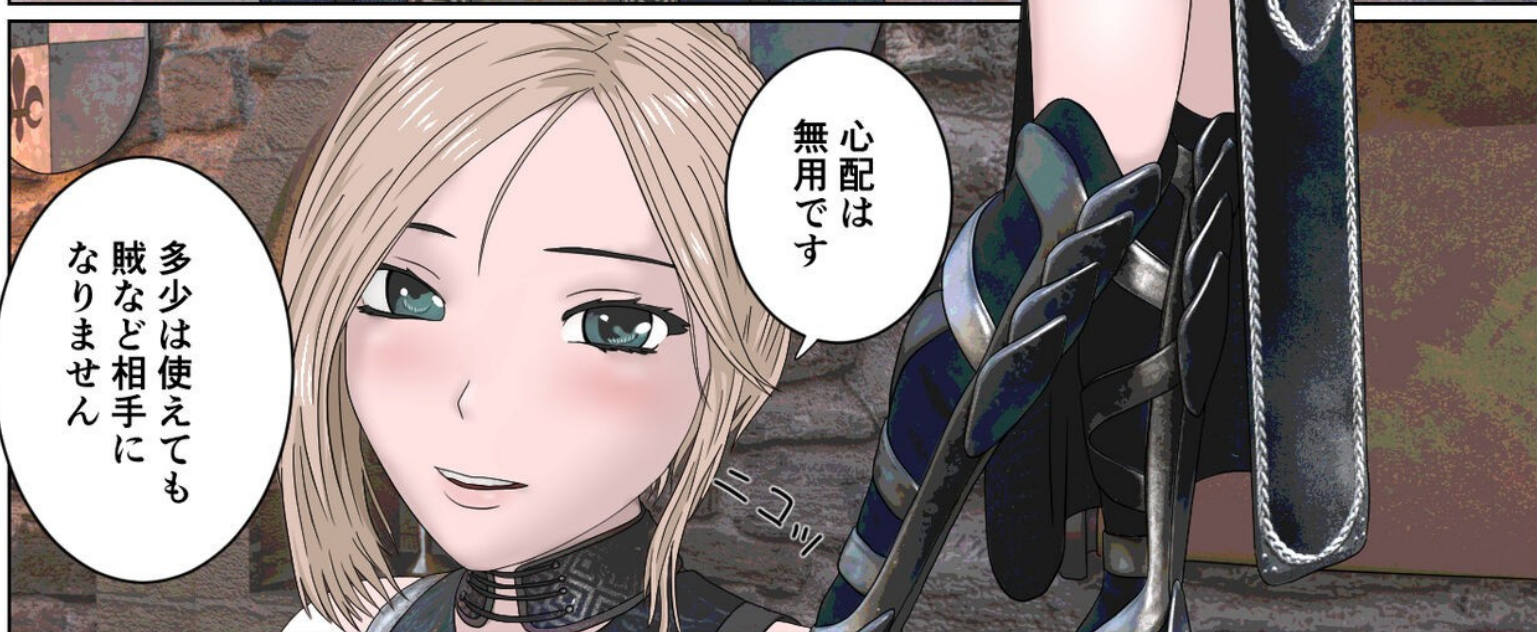
これは
頼もしい

エレナ殿と
剣士団の皆様
なら安心だ



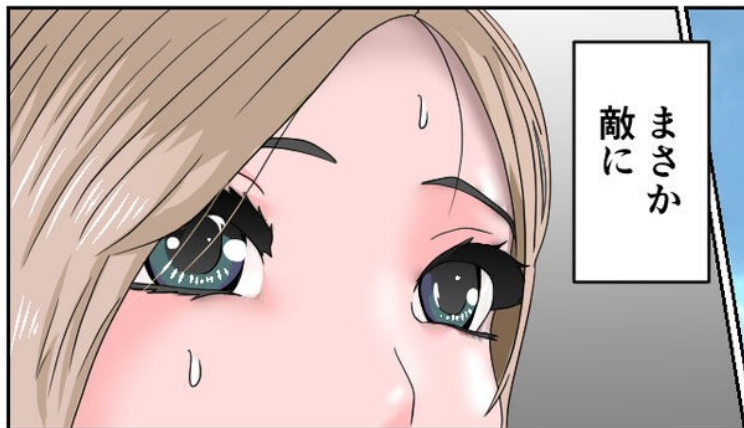
だが気を
つけてくれ

どうやら敵の
中に手練が
いるらしい

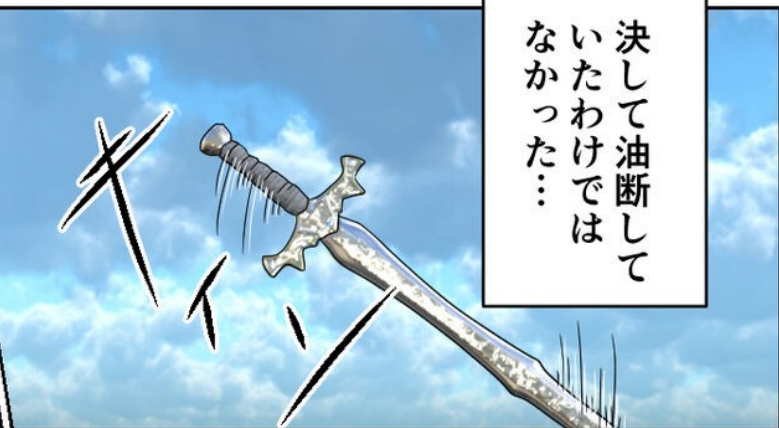


心配は
無用です

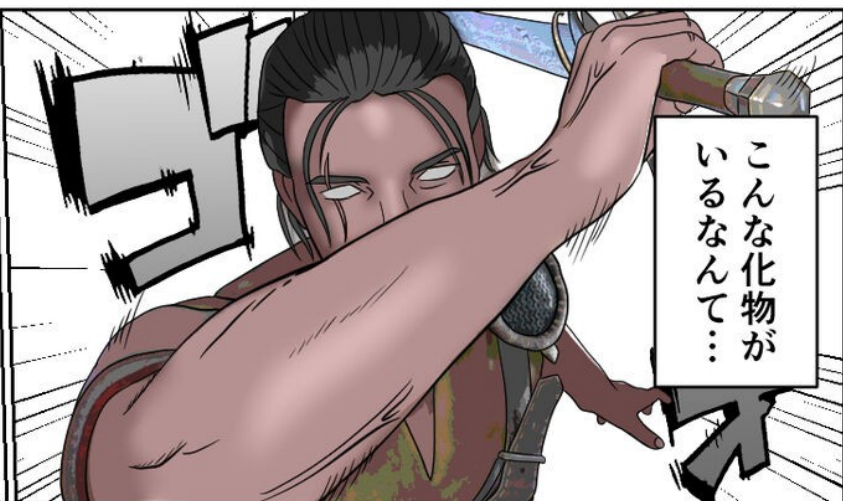
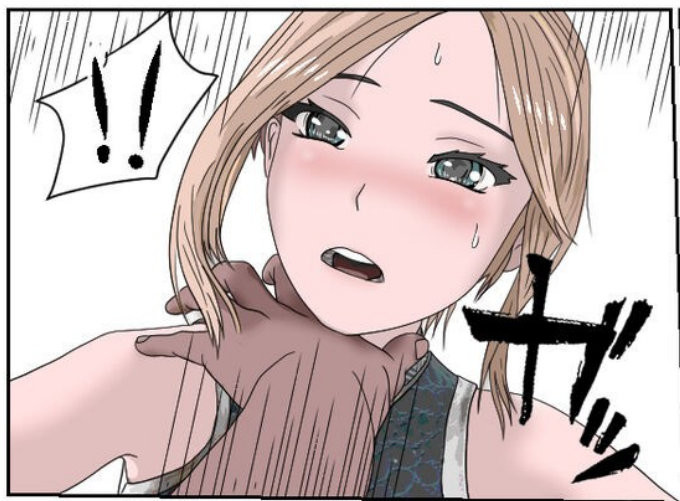
多少は使えても
賊など相手に
なりません



まさか
敵に



決して油断して
いたわけでは
なかった…



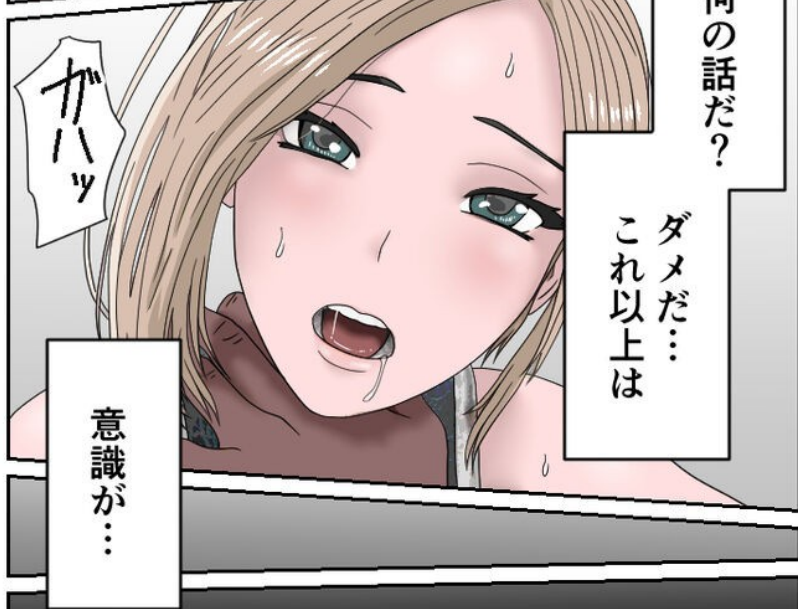
こんな化物が
いるなんて…



おいおい
殺すなよ？

わかって
ますよお頭

後で全員で
楽しむ
んでしょ？



何の話だ？

ダメだ…
これ以上は

意識が…



い…

ワリッ

ゲッ
ッ
ッ

息が…

数時間後…

ゴォォォ

……

それなりに
手こずらせて
くれたが

こうなっちまえば
世話ねえな

ザッ

仲間は…

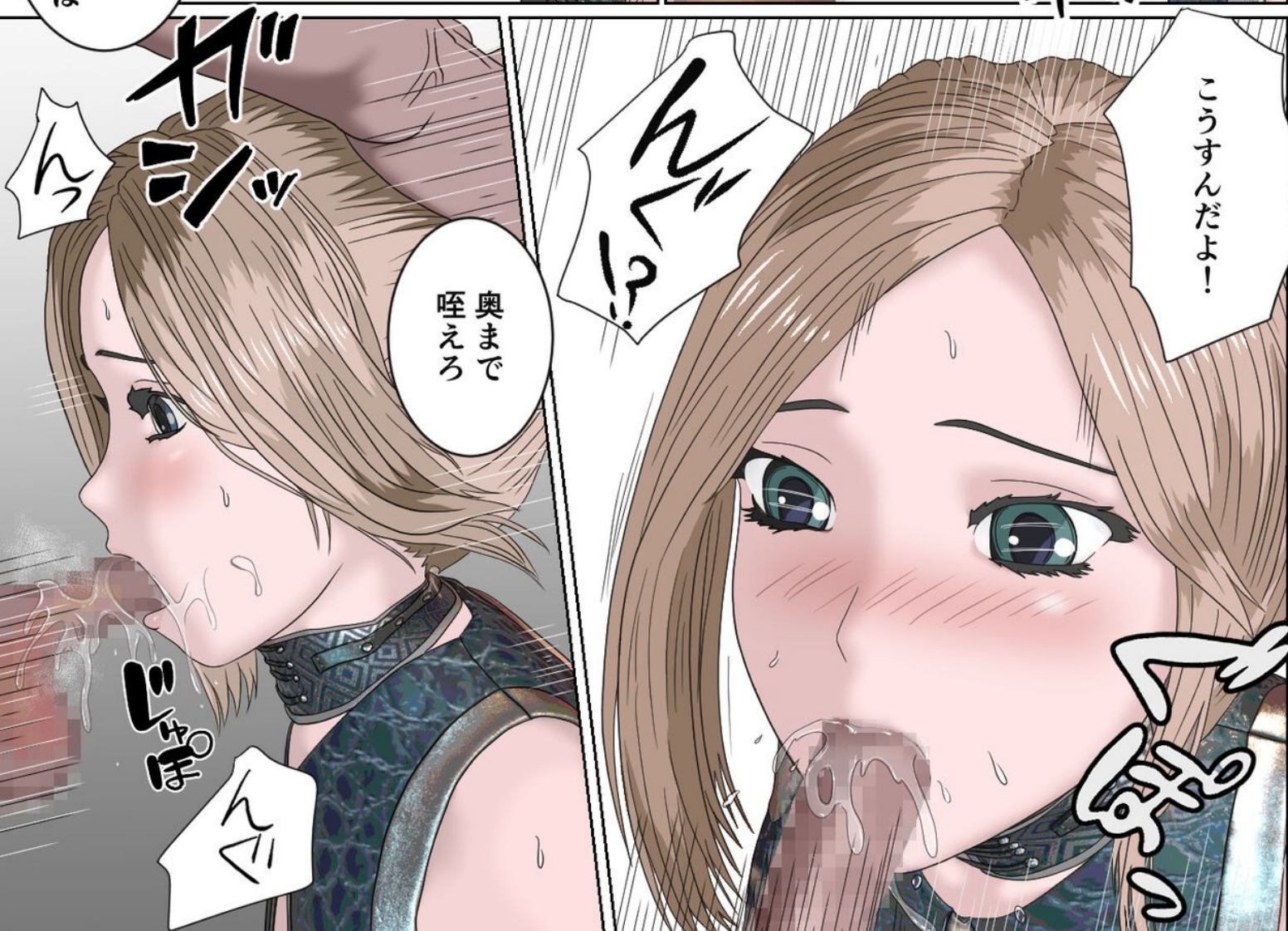
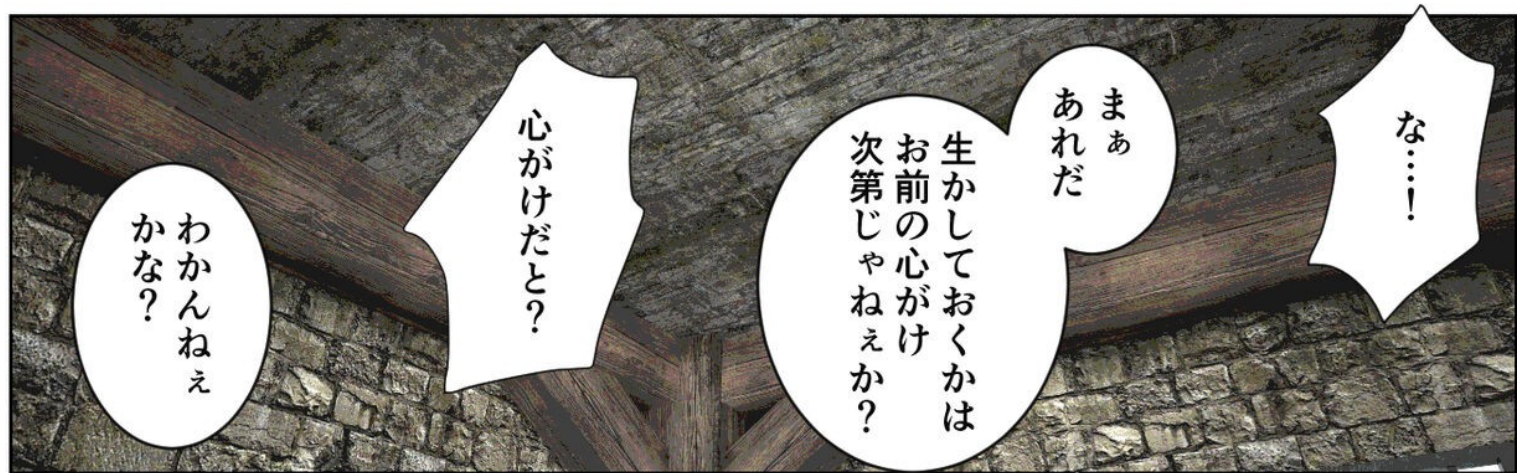
無事
なのか？

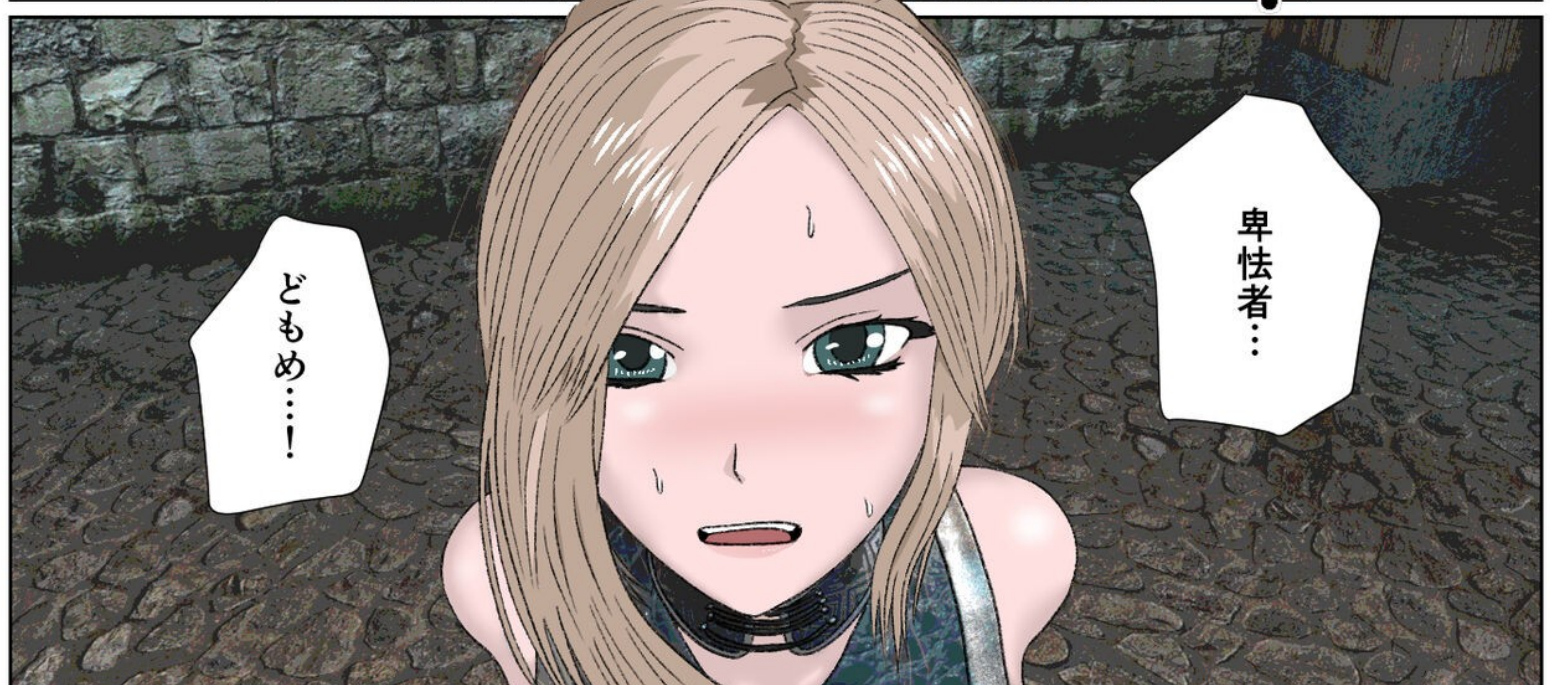
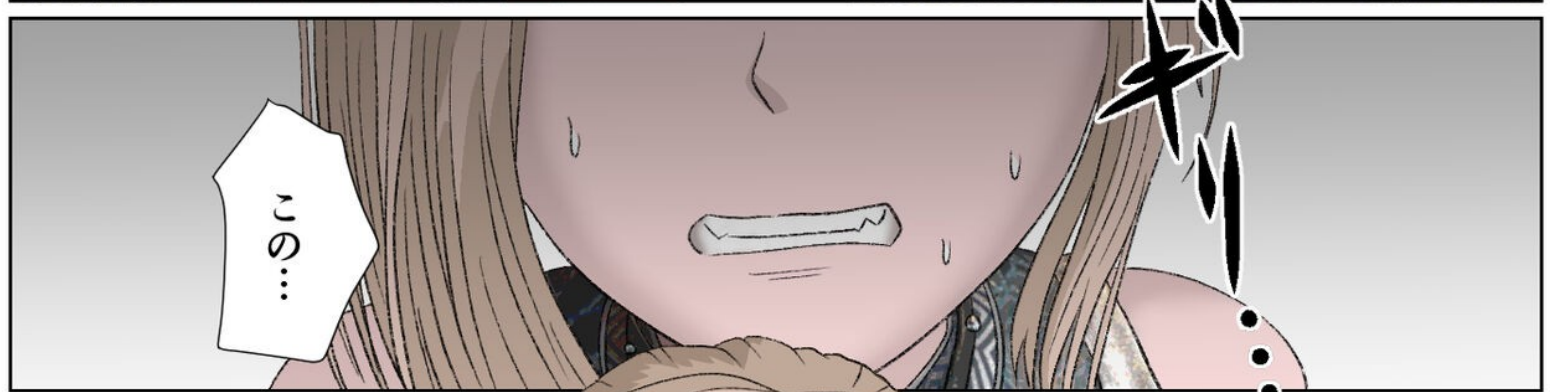
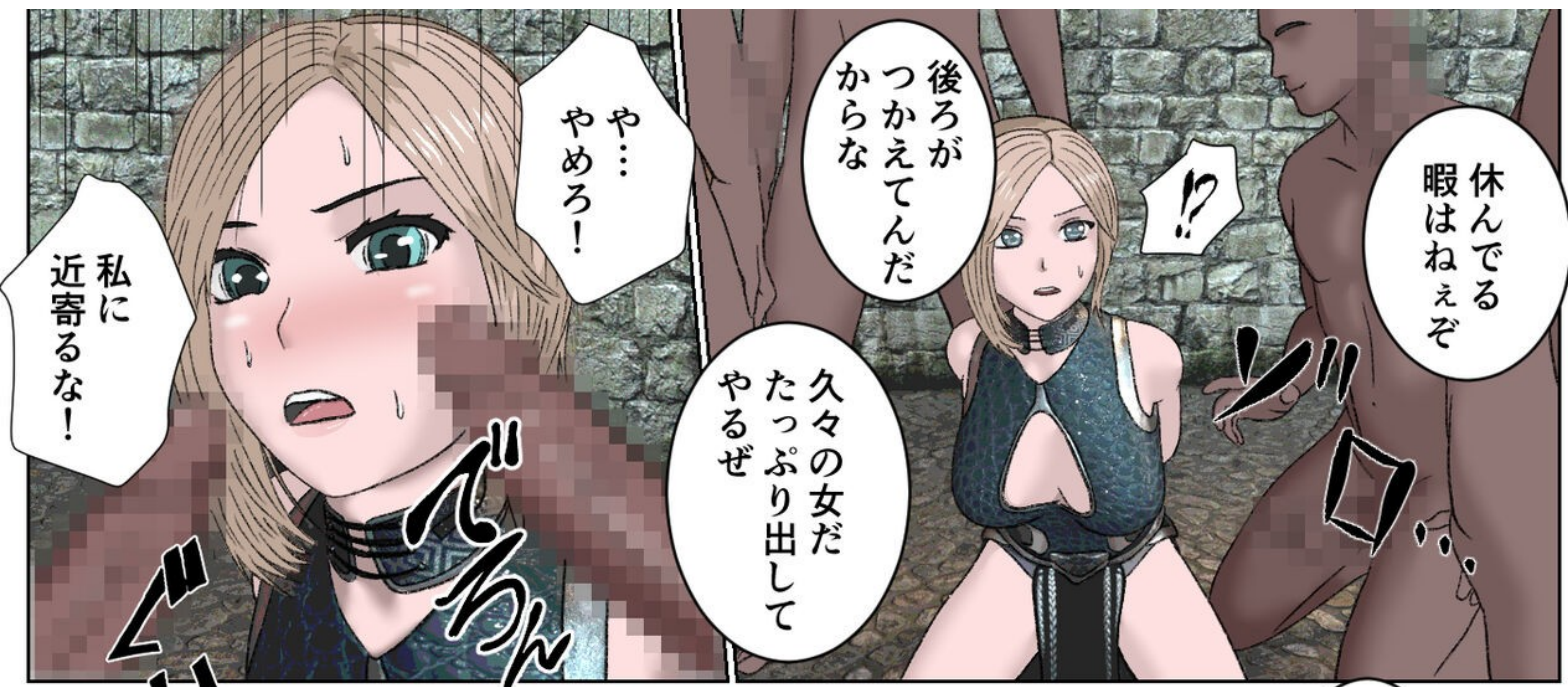
あー

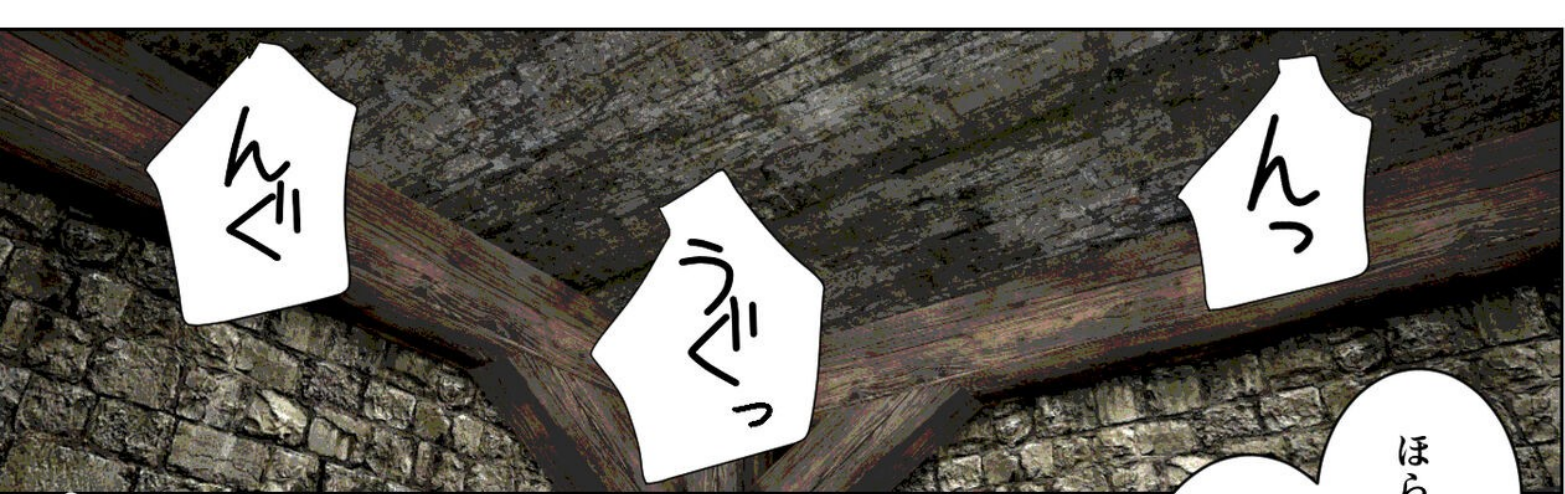
何人か息が
あったから

まとめて
牢にぶち
こんでるぜ

!!







んく

うく

ん

ほらほら

手も使わねえと
終わらねえぞ

はあ

だが...

せ

ん

今は耐える
しかない

出すぞ!

こっちも
しゃぶれ!

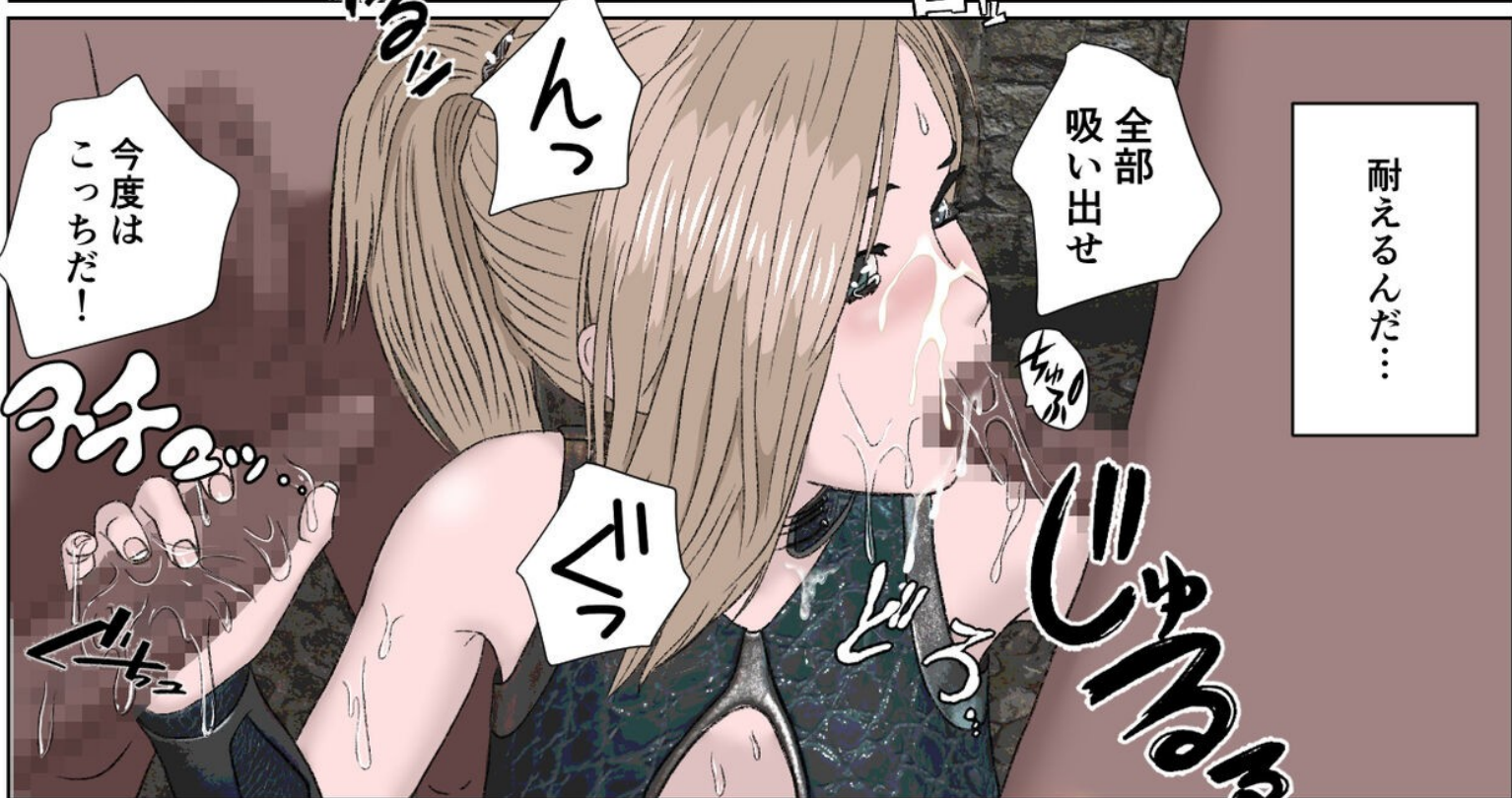
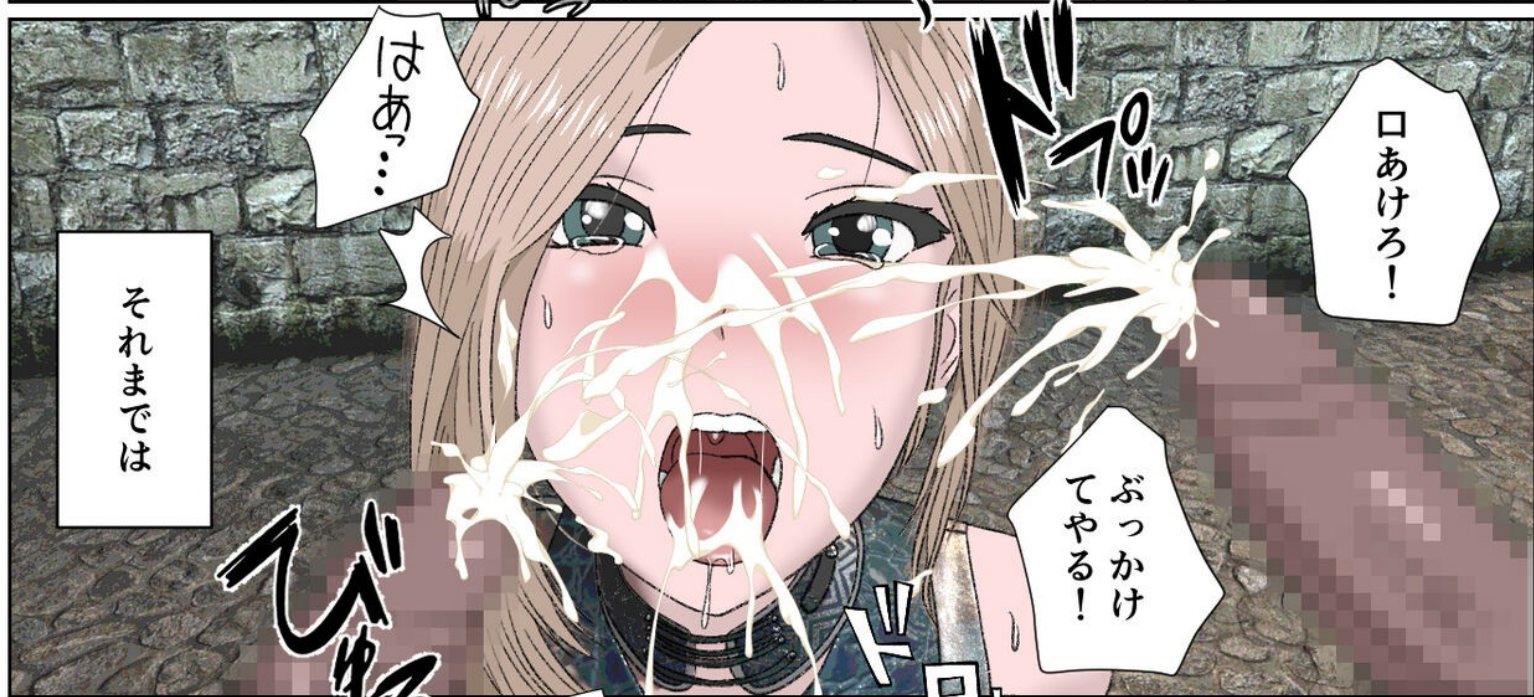
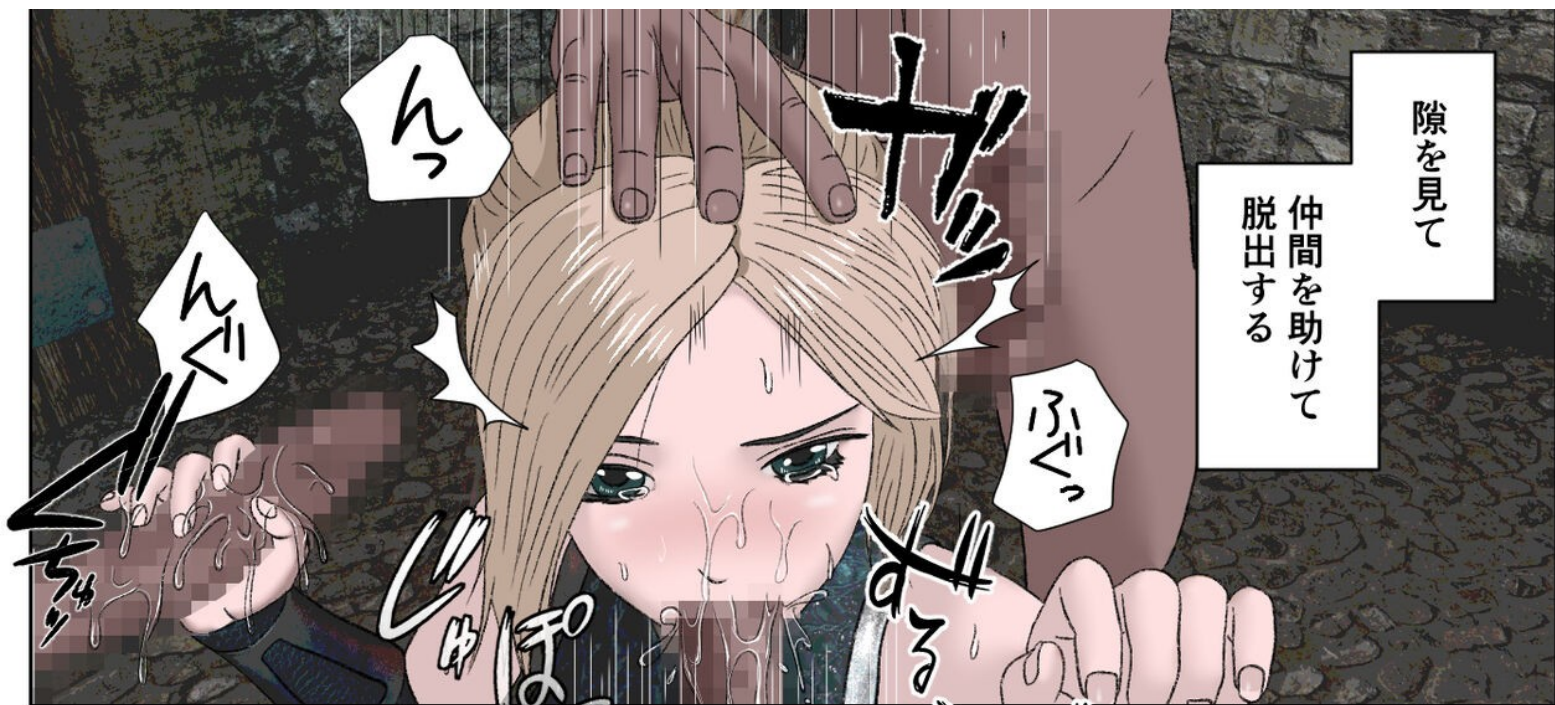
手の縄が
解かれた...

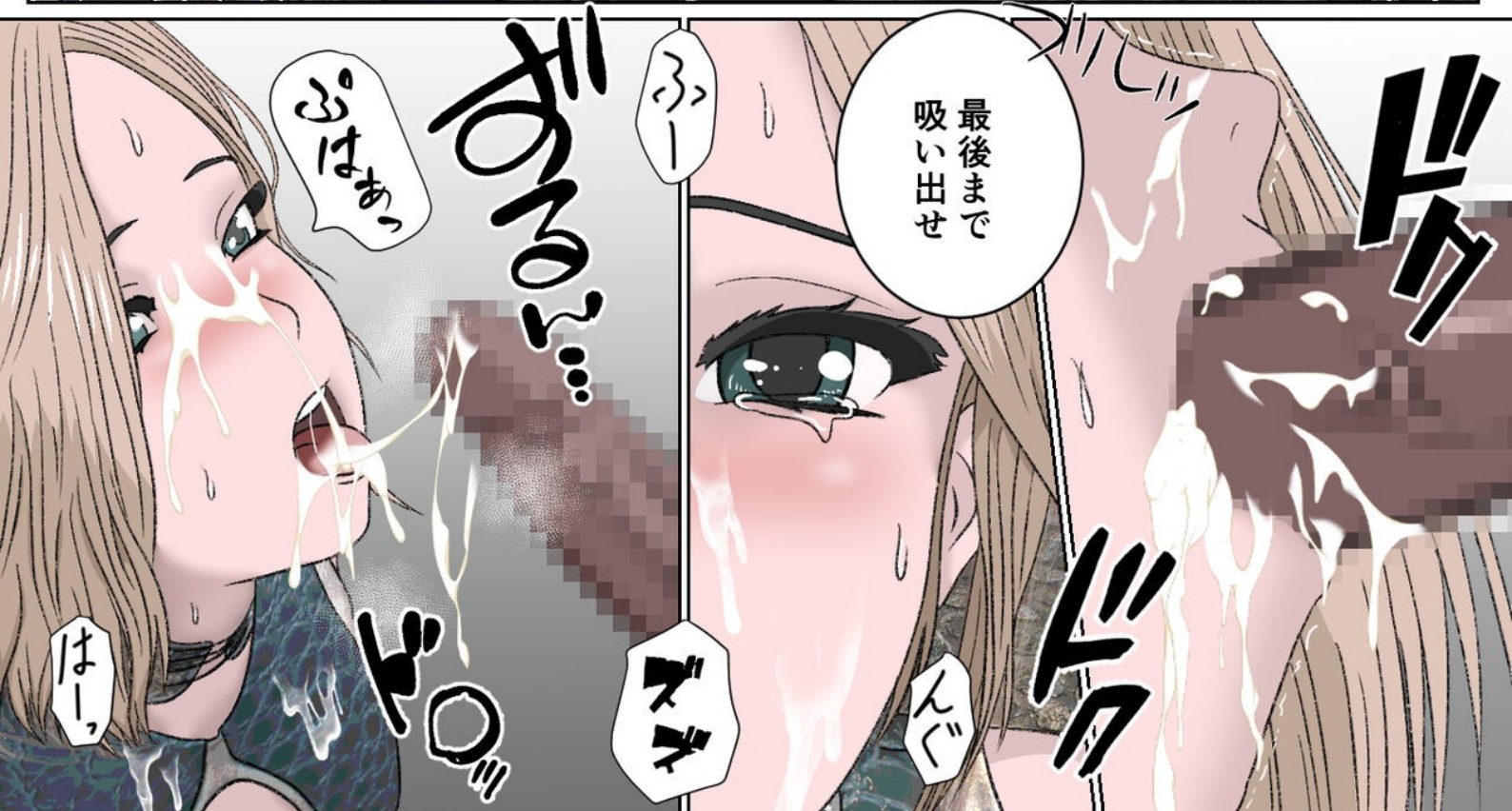
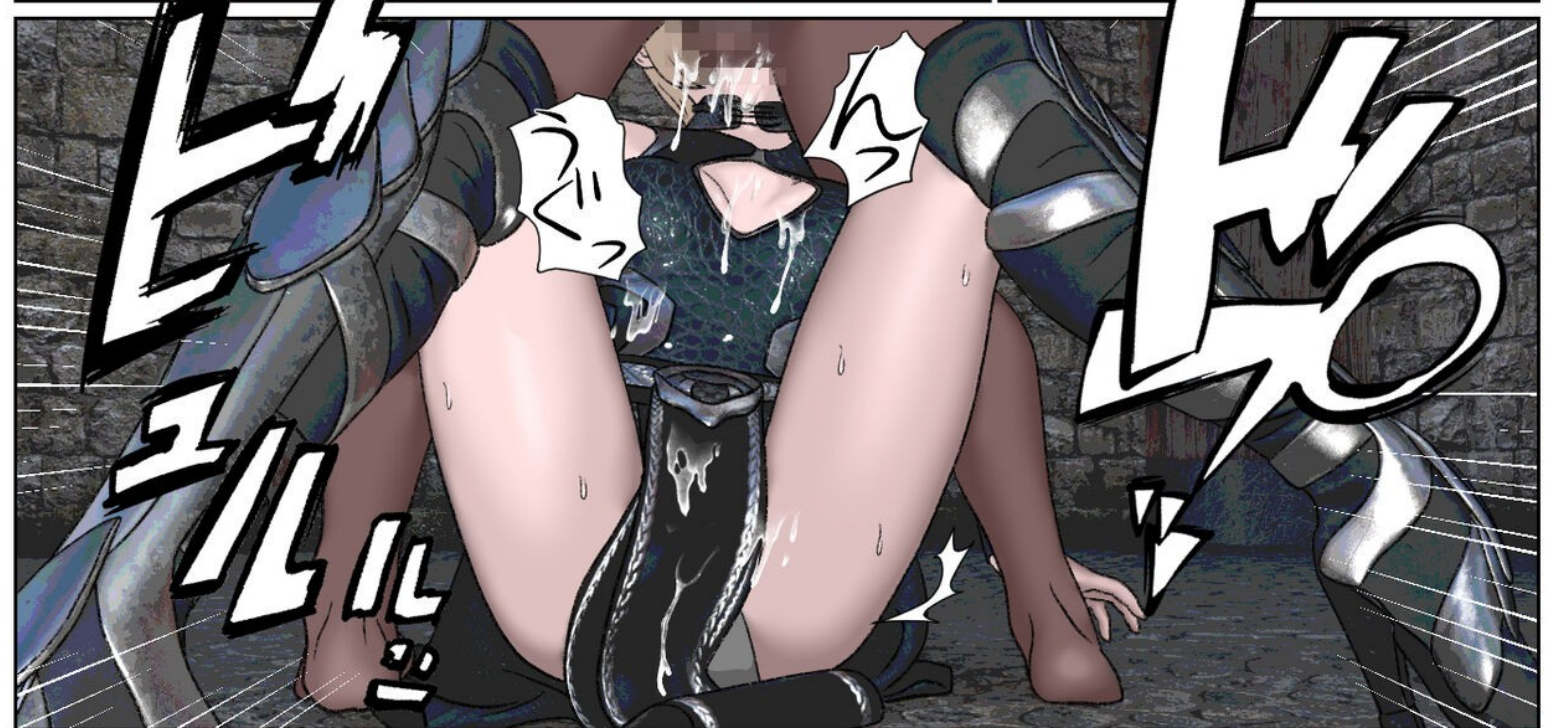
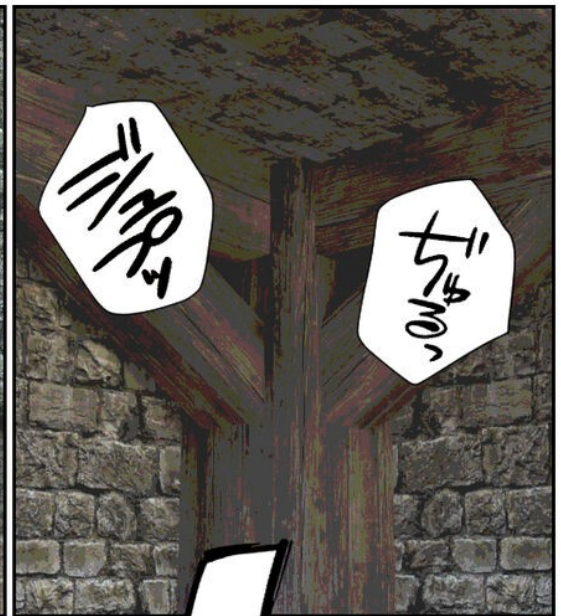
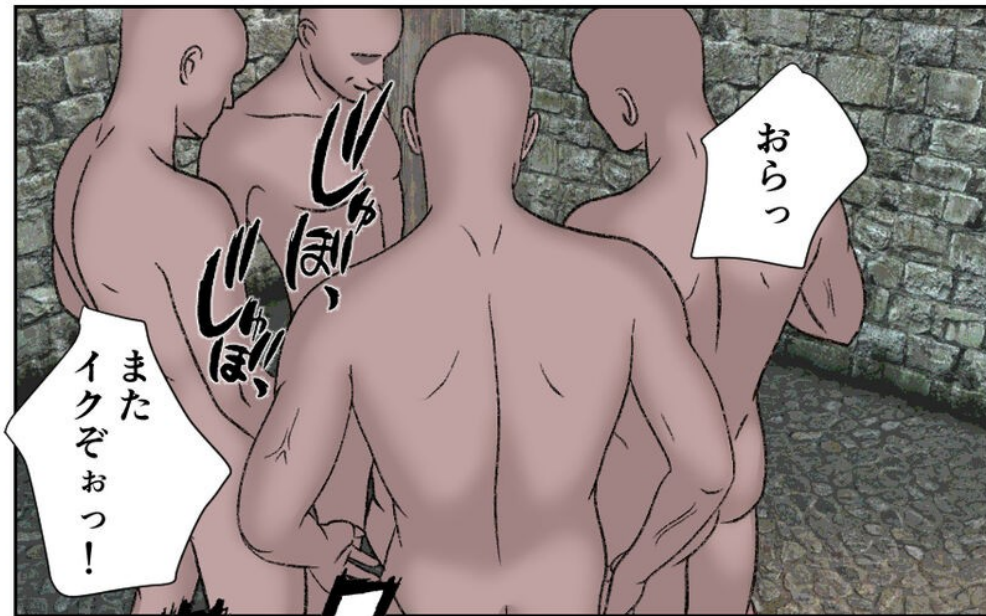
んん

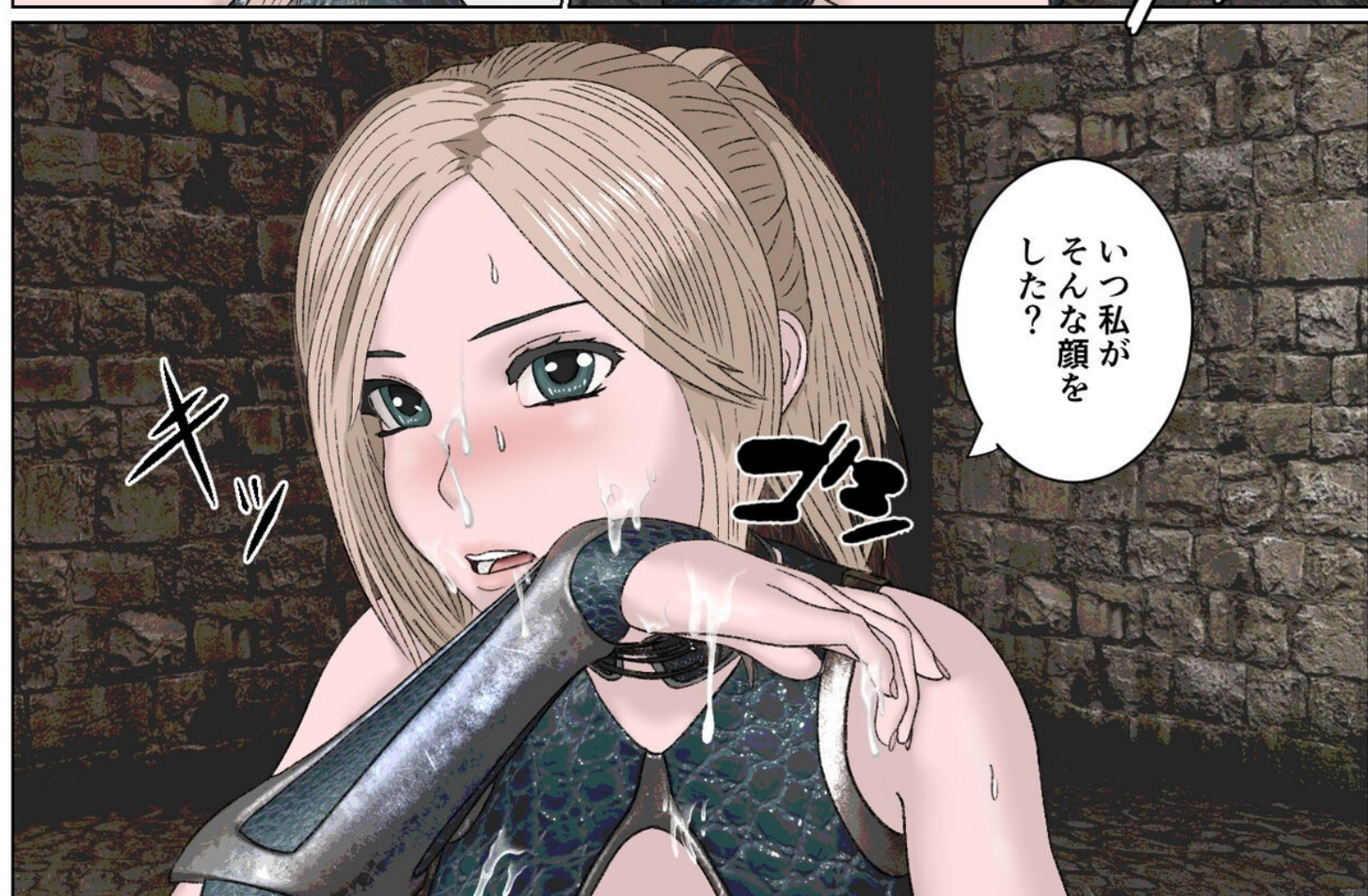
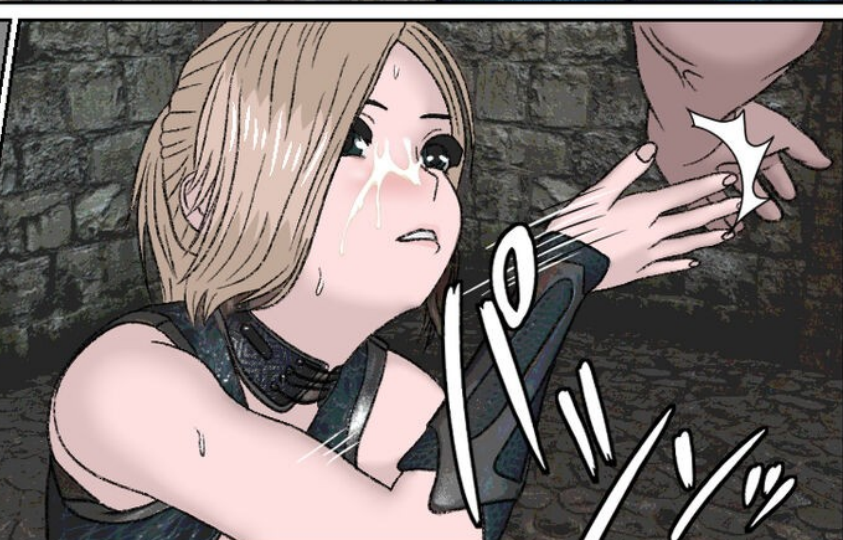
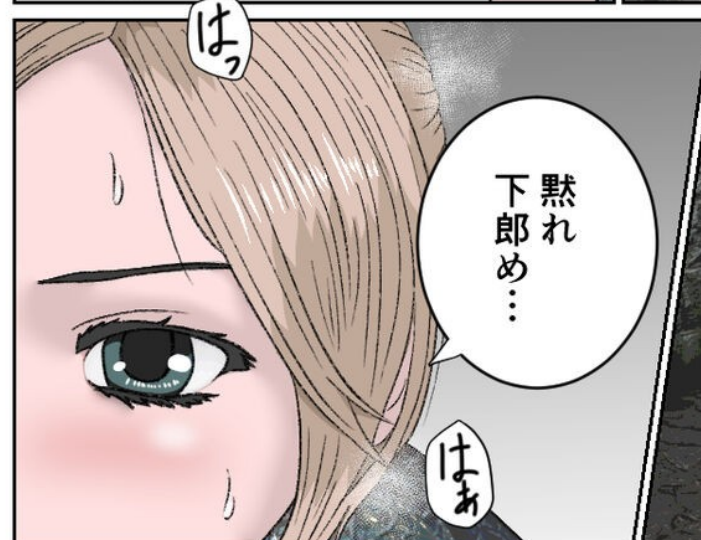
う

ギョ

ギョ









ハハッ

いいね
そうこなくっちゃ

娼婦とは
違うってところ
見せてくれよ!

ソクソク



やつ

触るな

服が邪魔
だな

卑怯者っ!

このっ

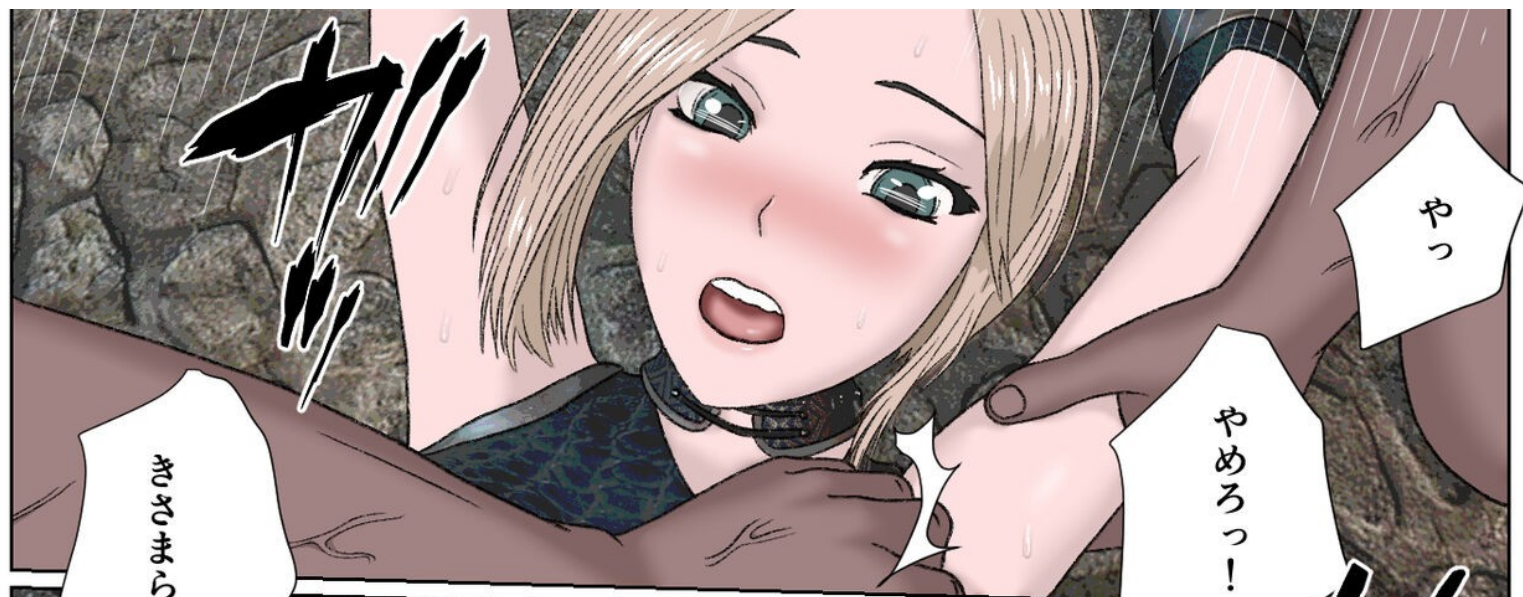
おーい
そっち抑えとけ

ひん剥いち
まおうぜ

ドン

たて

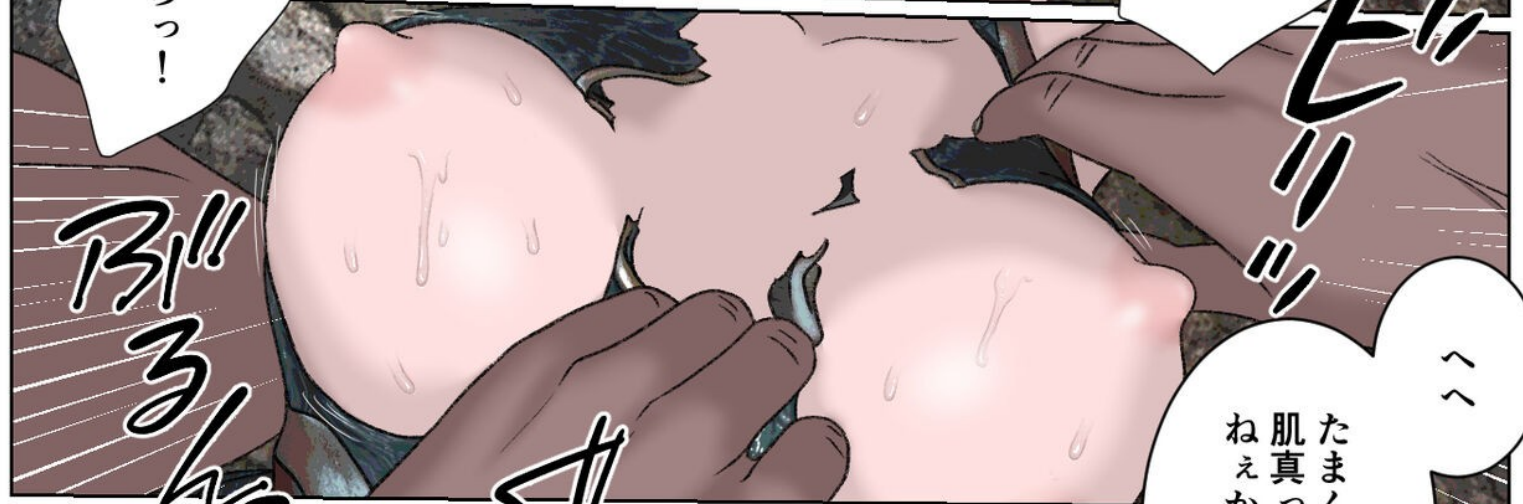
ガッ



やっ

やめろっ！

きゅんきゅん！



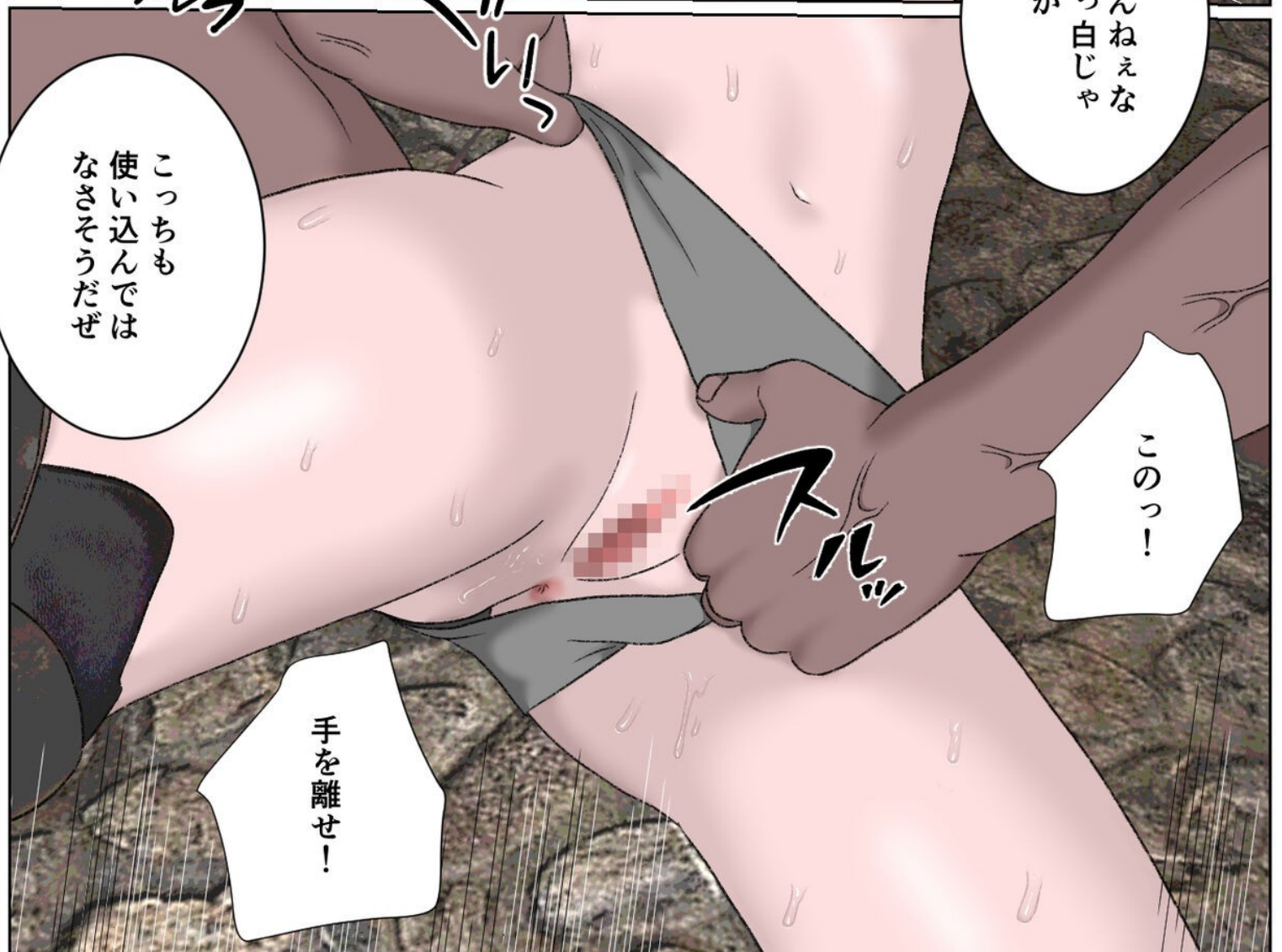
ビュッ

ブルン

アレ

たまんねえな
肌真っ白じゃ
ねえか

へへ

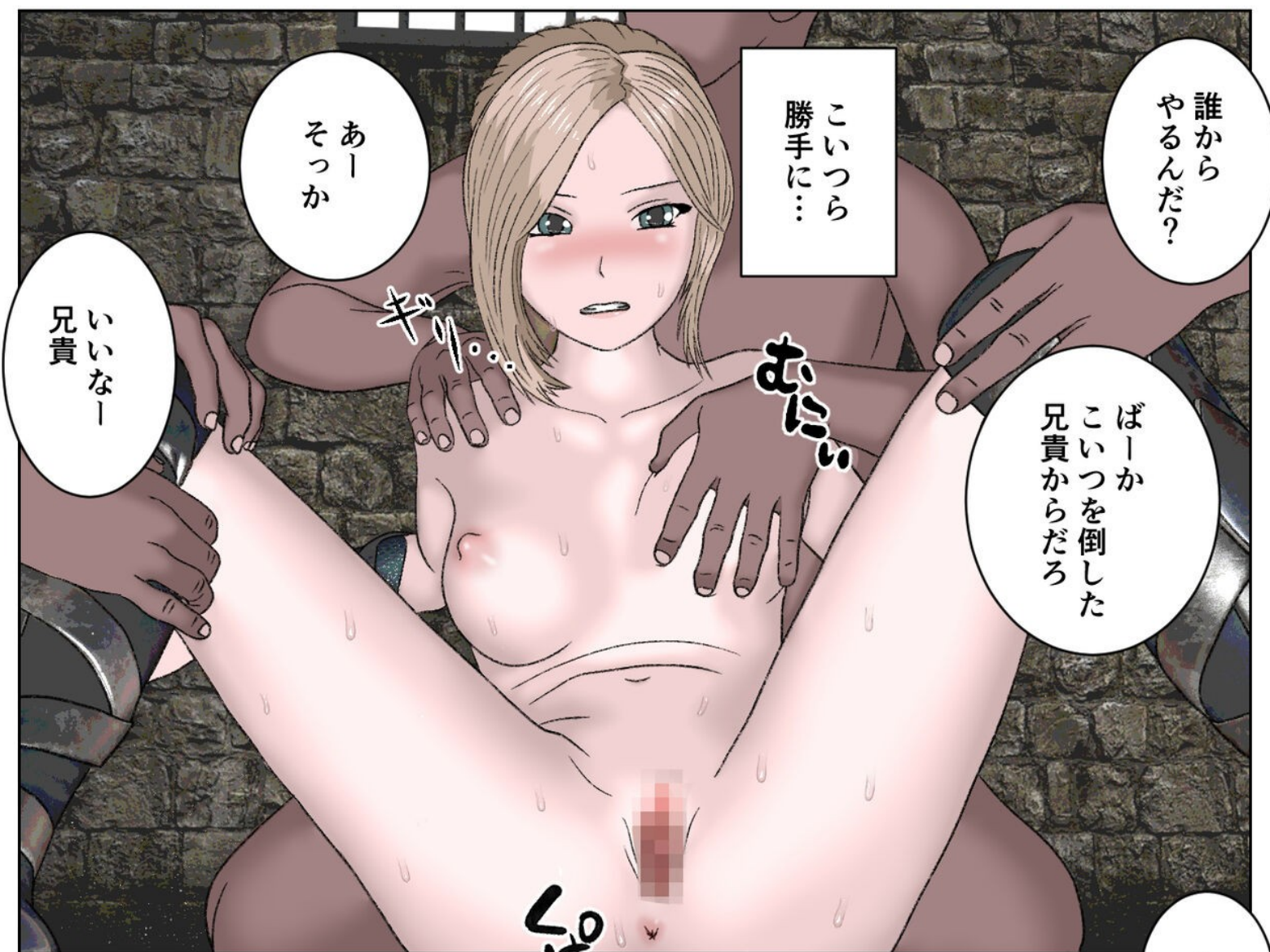


このっ！

スバル

手を離せ！

こっちも
使い込んで
はなさそう
だぜ



誰から
やるんだ？

こいつら
勝手に…

あー
そっか

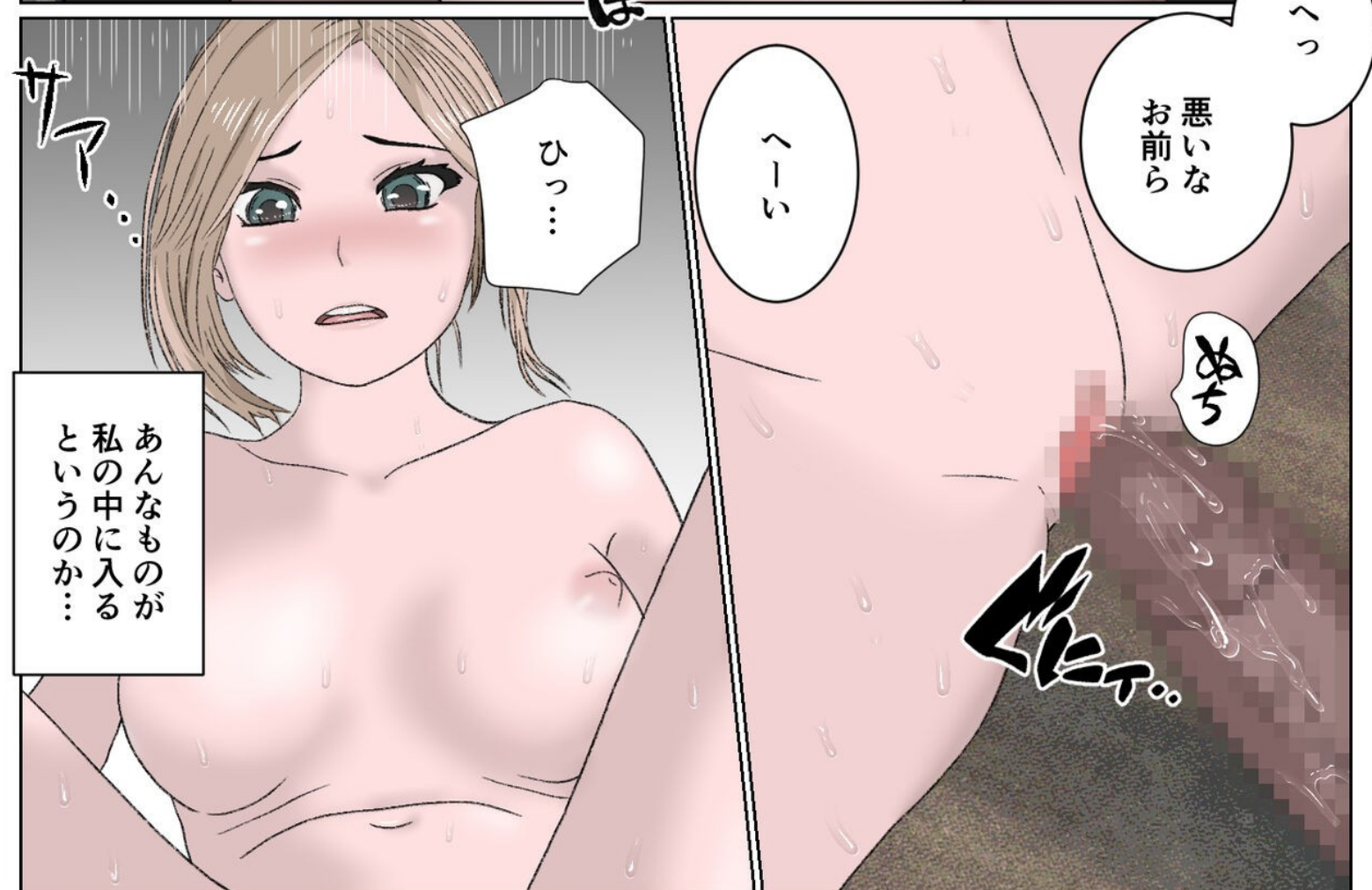
いいな
ー
兄貴

ばーか
こいつを倒した
兄貴からだろ

むに

ギリ…

くは



へっ

悪いな
お前ら

へー

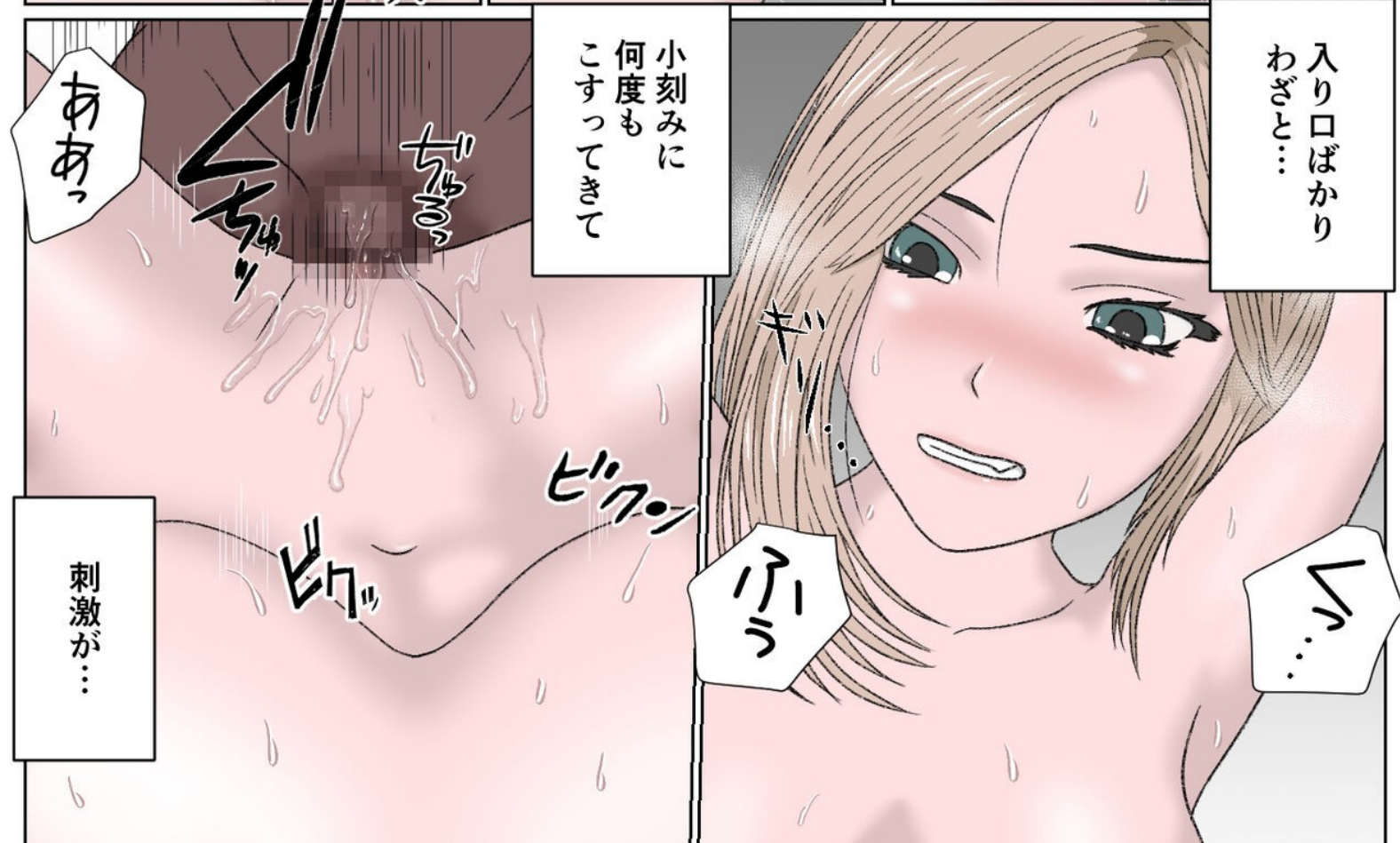
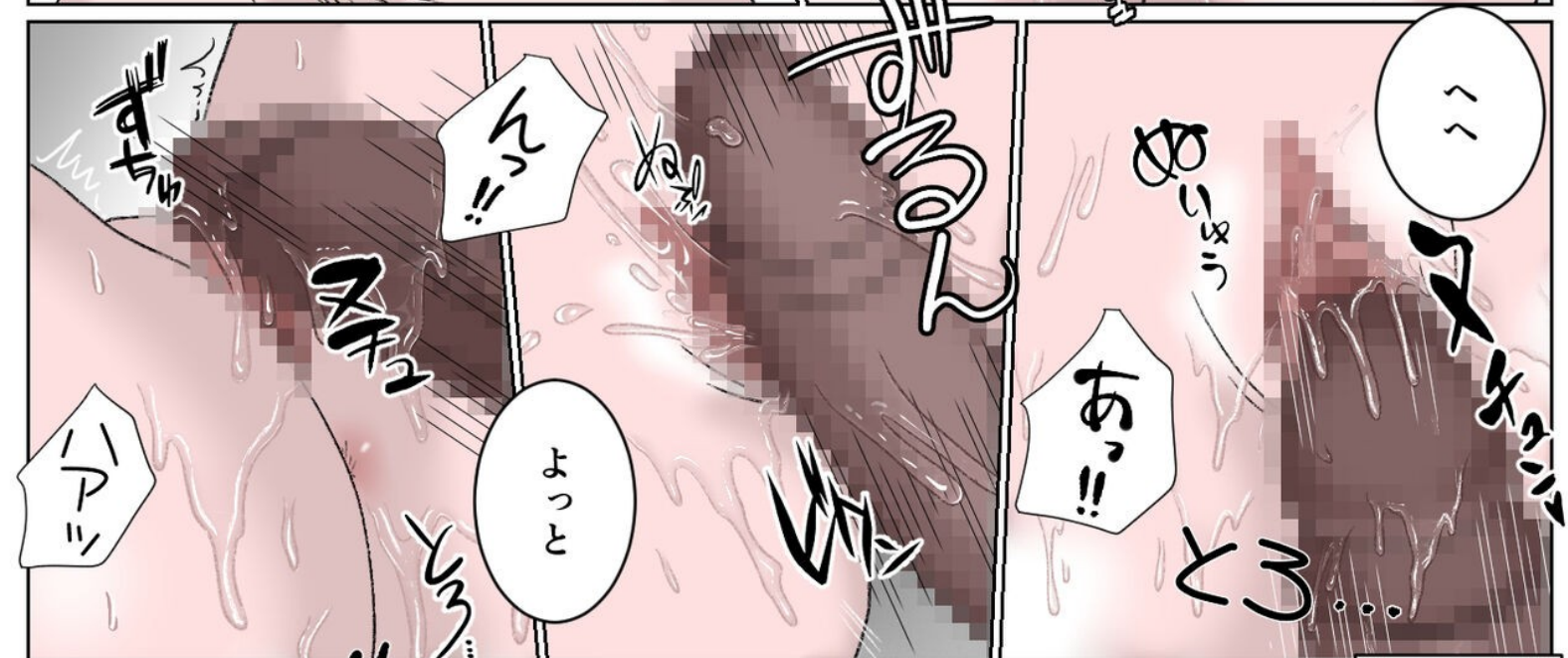
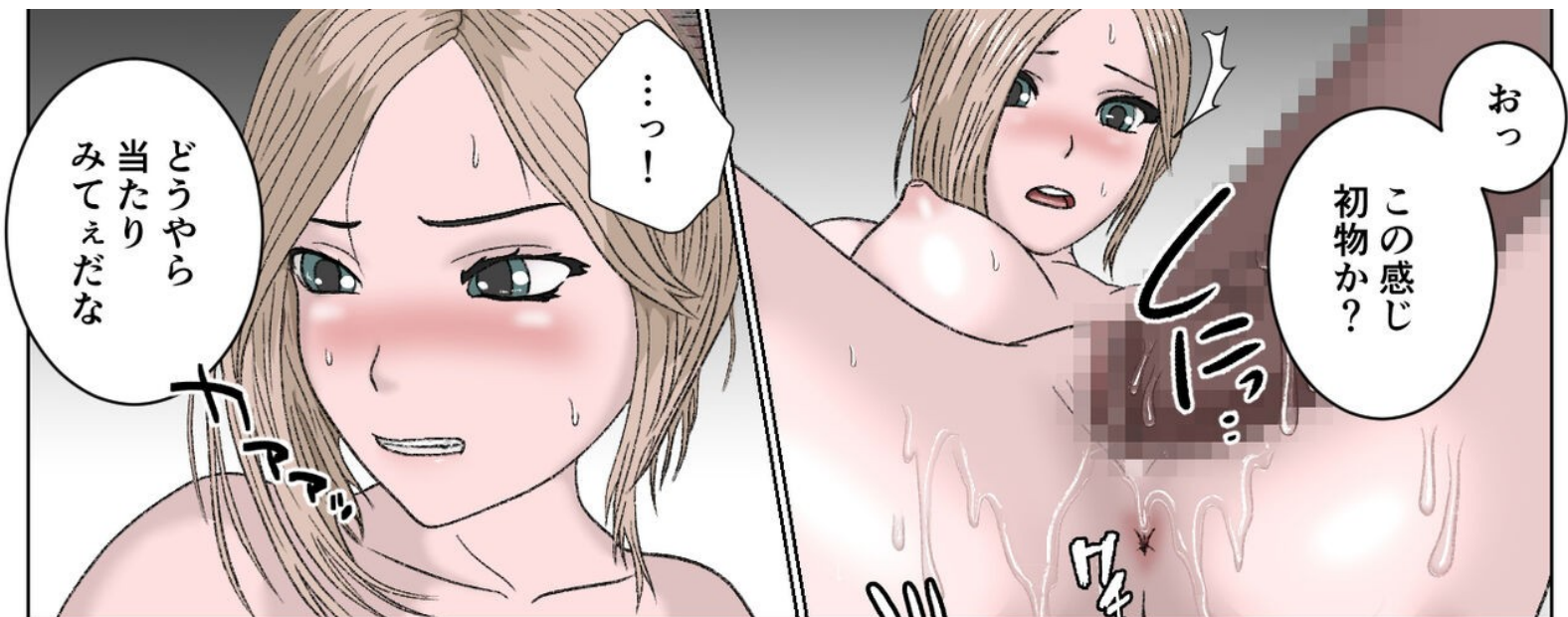
ひっ…

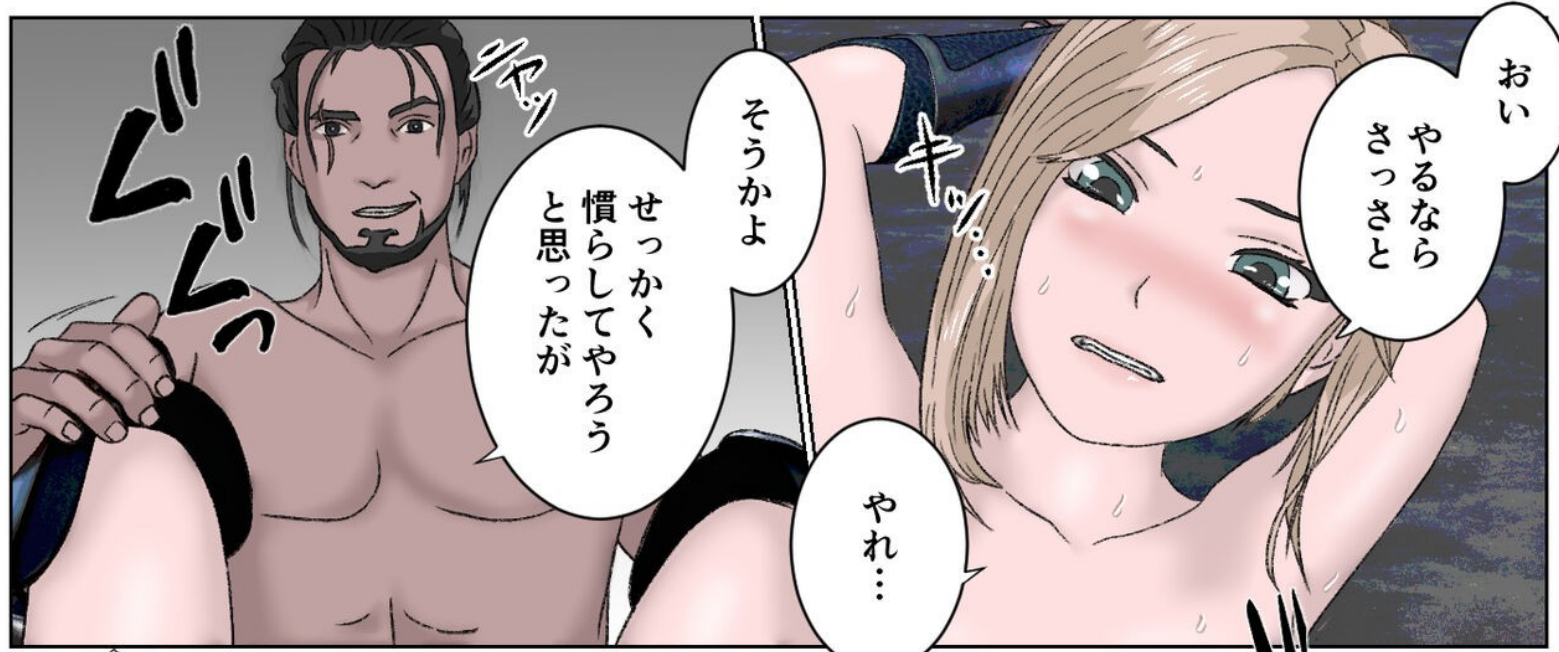
ぬち

ぐにッ…

サア…

あんなものが
私の中に入る
というのか…





おい
やるなら
さっさと

そうかよ

せっかく
慣らしてやろう
と思ったが

やれ…



それなら
遠慮なく

やらせて
もらうぜ!

ぐちゅ
かちゅ

めい
めい

めい
めい

ビュッ

んあ!!

ビュッ

なんだ

この感覚…

いいぞっ
お前の中
最高だぜ！

はあ

あぁ…あぁ!!

んっ!!
たろっ

ぐちゃ

ちゅぽ

めろ

しゅぽ
しゅぽ

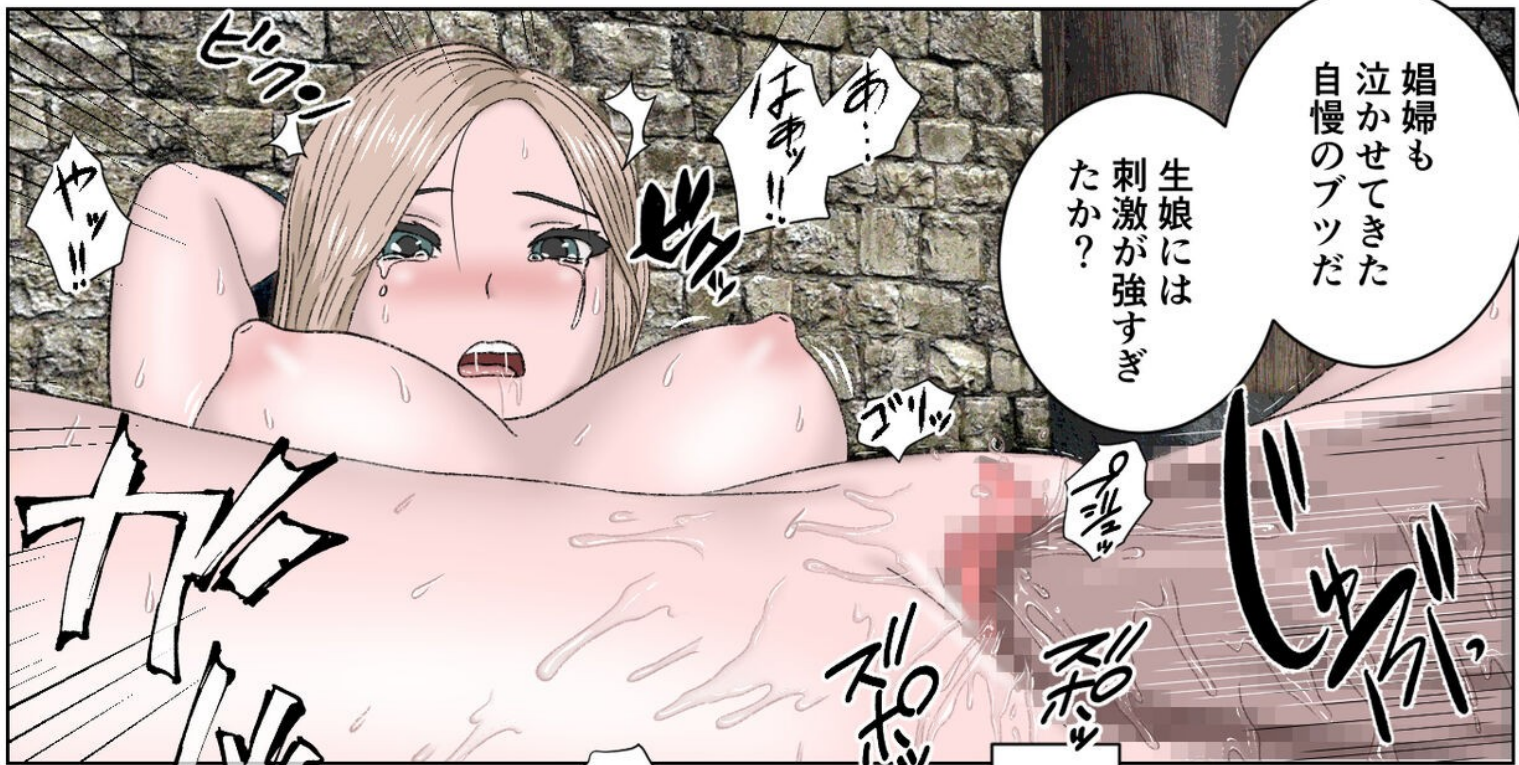
まるで腹の
奥までえぐられる
ようだ…

そして
痛みの中に
わずかに…

みちっ

娼婦も
泣かせてきた
自慢のブツだ

生娘には
刺激が強すぎ
たか？



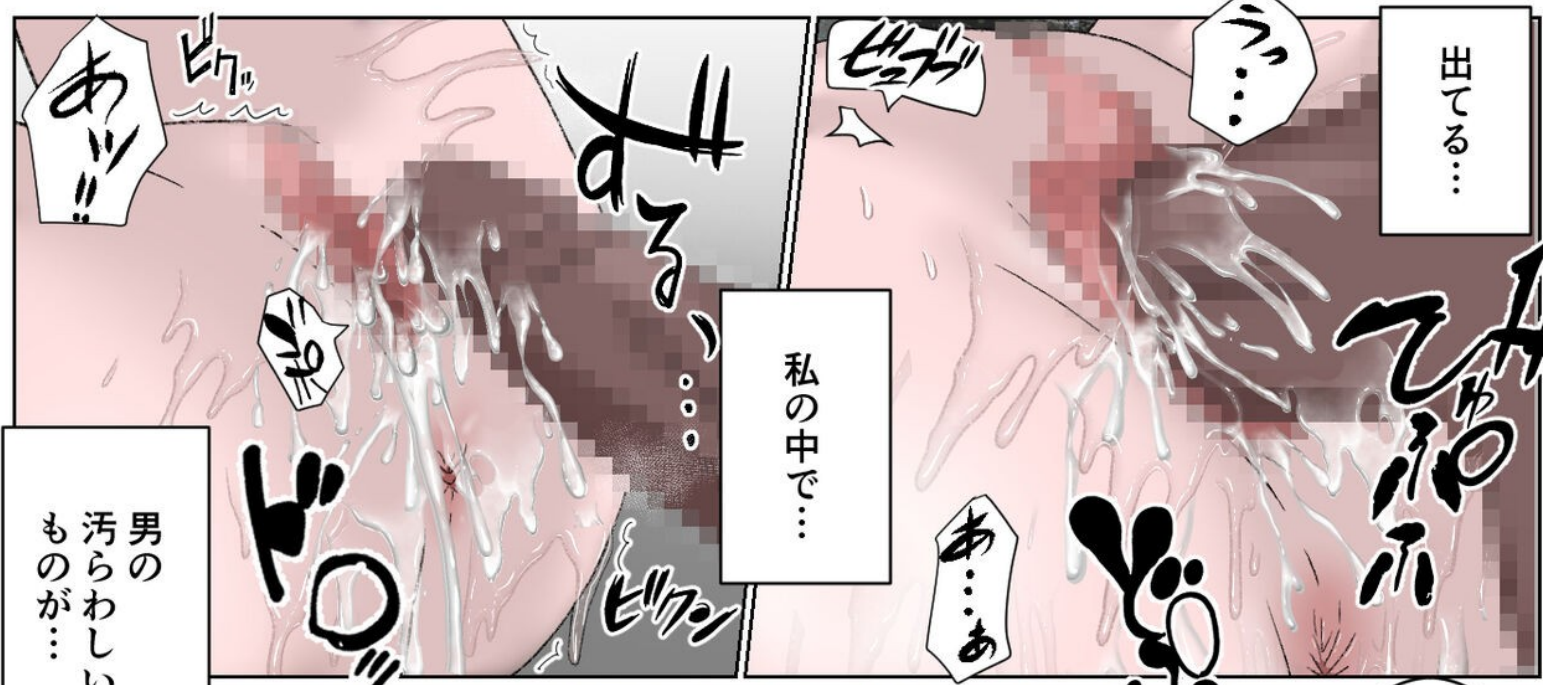
そろそろ
イクぞっ！
中に思い切り
ぶちまけて
やる！

何も考え
られない…

だめだ



な…か…？



出てる...

う...

びしょ

どろろ...

私の中で...

あ...あ

あ

どろろ

男の汚らしいものが...



ふうー
最高だったぜ

二発目とは思えねえくらい出たな

はあッ...

あう...

びしょ

びしょ

びしょ

どろろ

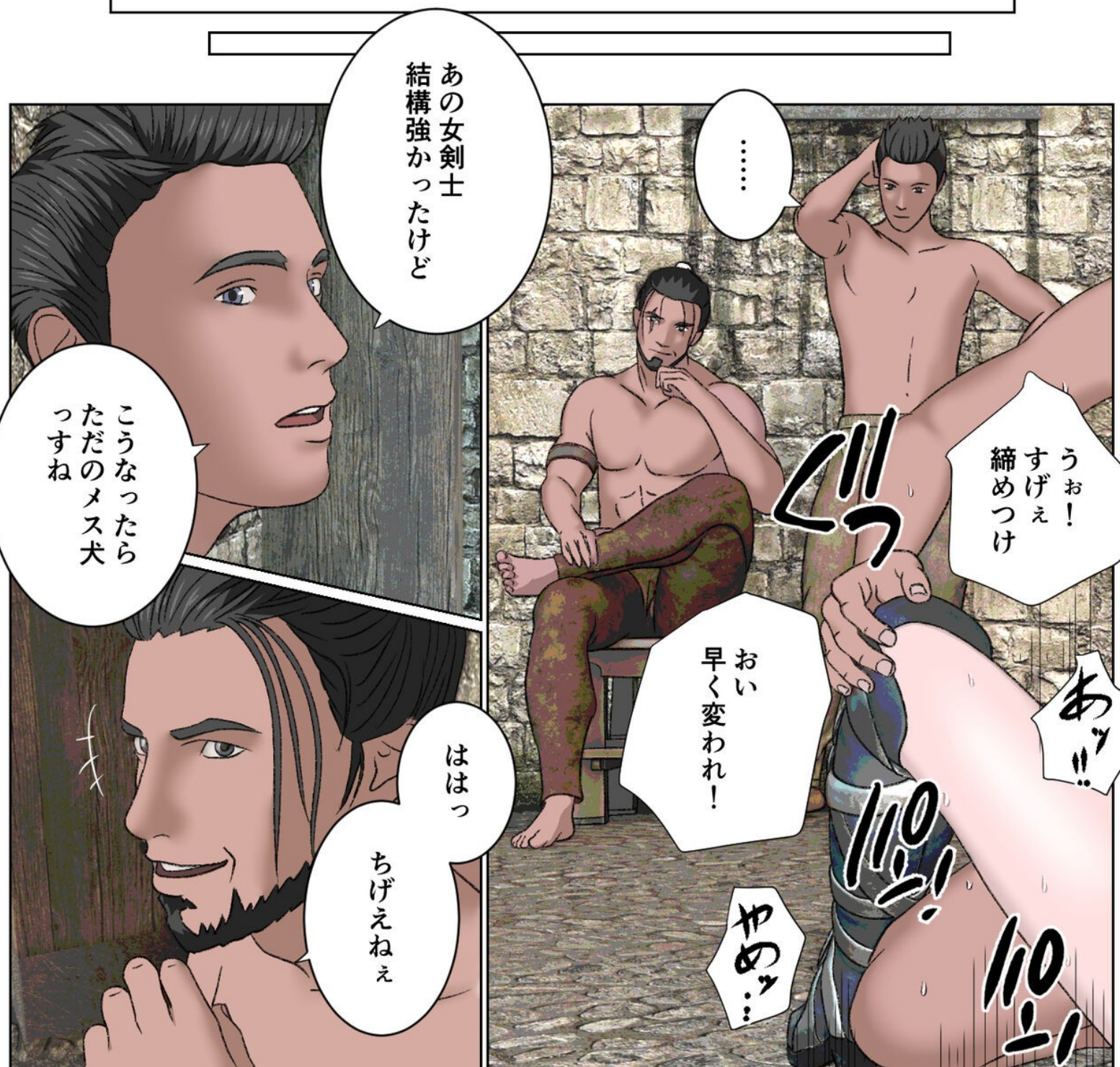
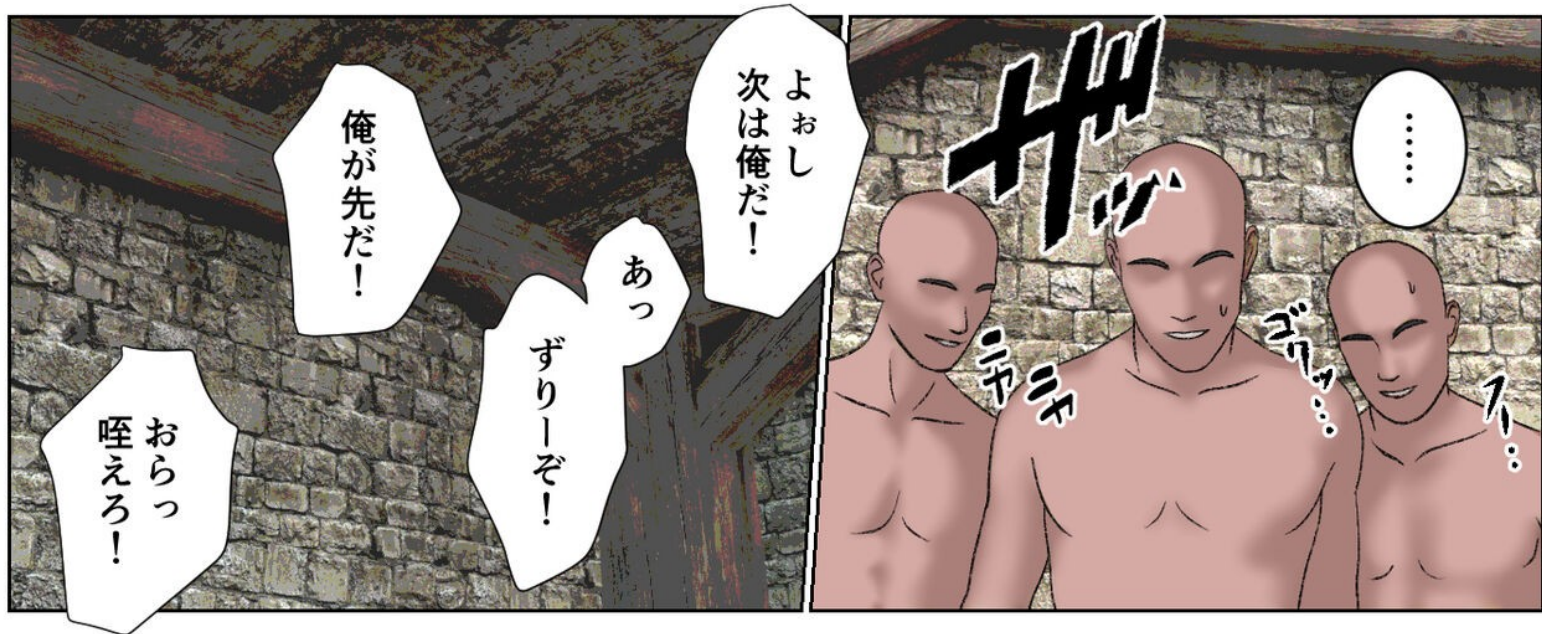
うあ...

どろろ

どろろ

あ...

は...





肌なんて
真っ白で
傷一つないし

とても剣士の
体とは思えない
っすよ

それにしても
いい拾い物
しましたね



そりやお前、
だからあの女
疾風なんて
呼ばれてんだろ

疾風？

知らねえのか？
ったく

風のように速い
剣捌きで

一撃も喰らわずに
勝っちゃう



今までロクに
傷を負ったことも
なかったんだろうさ

へえー

そんな凄いのを
好き放題できる
なんて役得っすね

さすが兄貴

今まで本当に
強い奴と戦わな
かったんだろ

運が良かった
のさ



まあ
それも

あッ

びゅるッ

びゅるッ

あッ

ズッ

がッ

サッ

サッ

びゅるッ

カッ

びゅる...

はあッ...

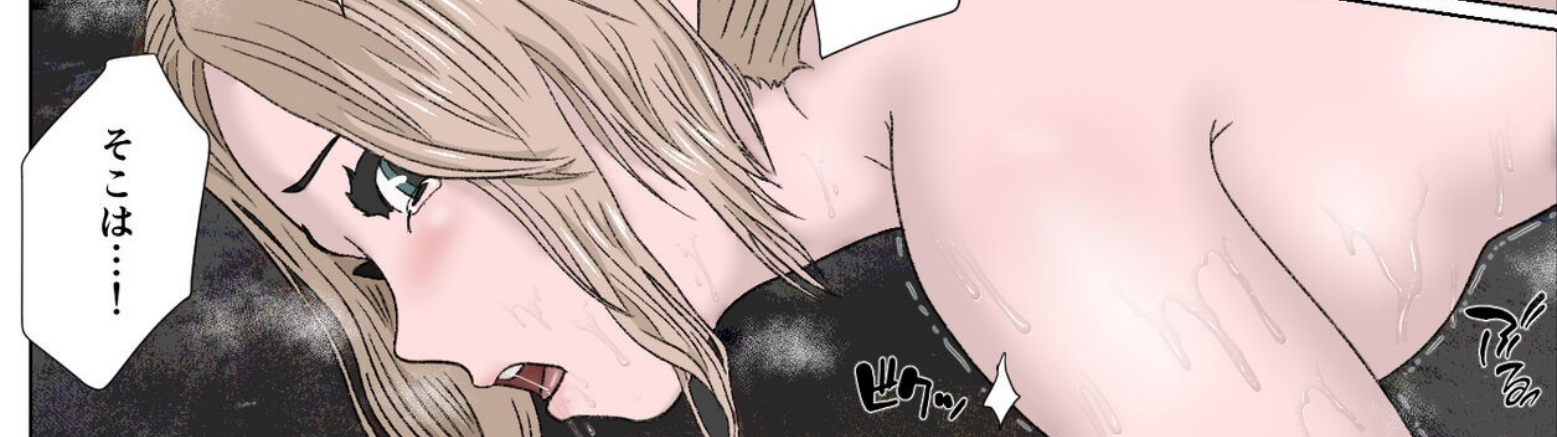
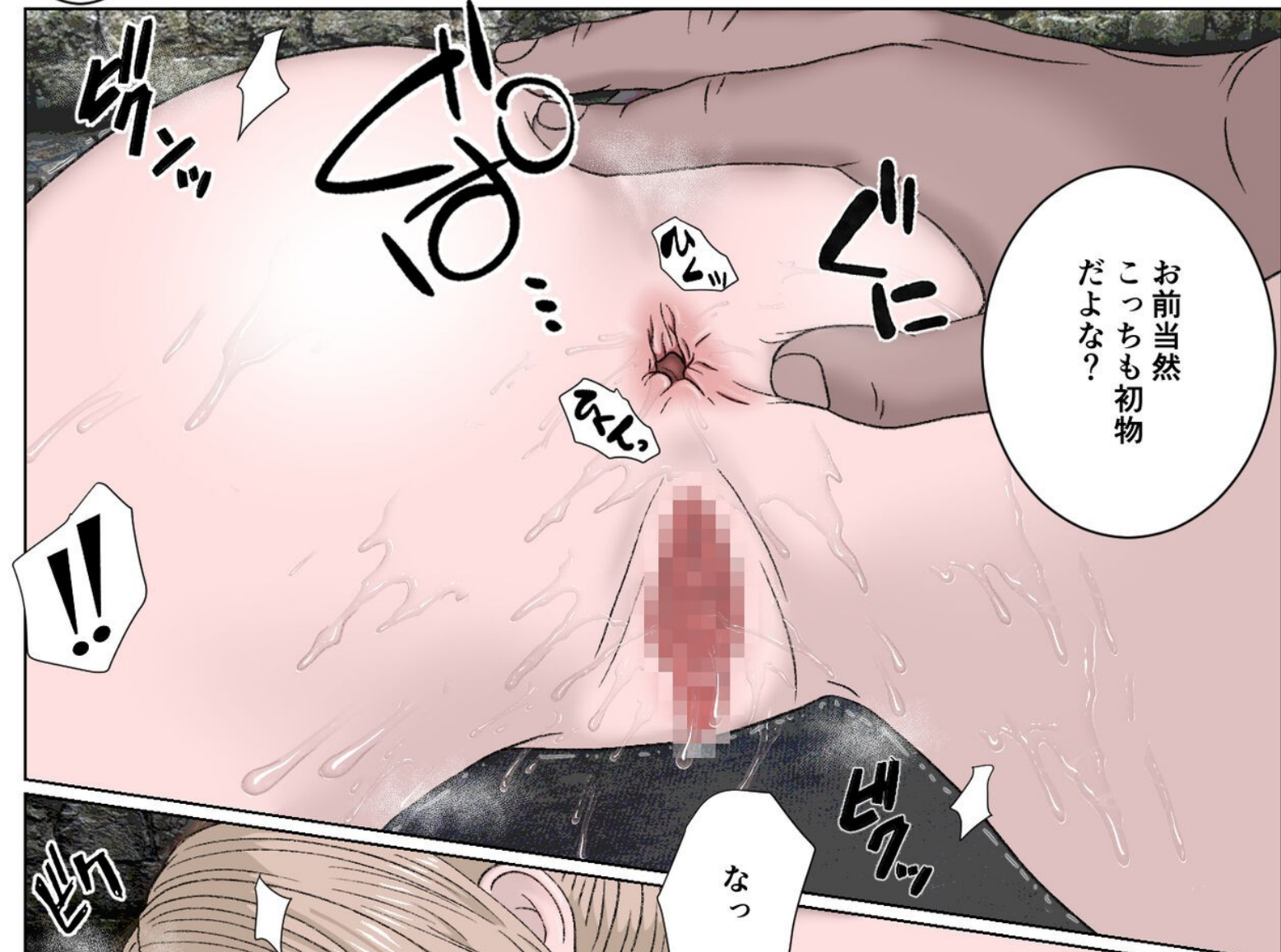
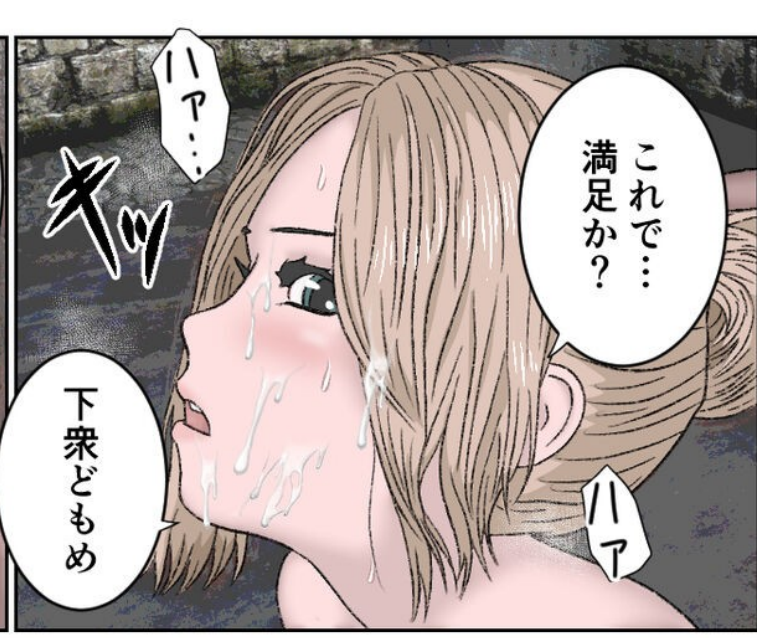
サッ

今まで
だかな

びゅるッ

びゅるッ





剣士さまの
ケツ穴が
どんなもんか

試してやるぜ

やめて：
そんなところに
入るわけ：

ハハッ

ようやく
いい声になって
きたじゃねえか

剣士さまも
ケツ掘られんのは
怖いってか？

ズッ



おらっ
ケツの力抜けや
裂けちまうぞ！

あアアッ！！

いやッ！！

ケツ穴も
いい具合だぜ

あッ...

尻の中に
ぶちまけて
やる！



そうそう
それだよ

それが聞き
たかったんだよ



...お願い

もう許して...

はあ...

あの手の女は
一度折れると
脆いですからね

あと何日か
回しておけば

う…あ

…もう
許して…

二度と男に
齒向かわなく
なりますよ

ははっ
そうかもな

楽しみだ